茶家酔古襍 三篇 上

447

湖月堂老翁輯

茶家酔古襍

第三輯

皇都書房
中尾弘文堂梓

茶器濫觴

和事始云陶器ハ神代より有とも
大己貴命此時茅渟縣ニ大陶祇
といふ神あり舊事紀ニミえたり
茅渟縣ハ今和泉國ニ属ス今
も和泉國ニ陶器村あり是れ
大陶祇の住し処なるへし俗説ニ行基始めて
陶器村ニ居て陶器を作り初といふハ誤なり古人多く土
器を用ひされバ職貢今小皆陶
し司り居陶器ハ掌管陶器皿也
備らと見へたり常に其の従ふよる
時なる毎事家に行基焼なとく
其ぶたのハ此時代に作りまゐせる呼れ
ますなく時これある所ハん萬葉にも

三輪の壺屋などいへるも壺の
うつはものとのみ知まてる悪利
義政公茶の道をこのませられて
よりて数寄の道海内に流行し
諸国にても陶器を作りけるが
とりなりぬるに後加藤四郎左衛門と
いふ者 後堀川天皇貞応二年
道元禅師に従ひて入唐し陶
器の法を伝へ得て帰朝し唐土の
土と薬とを携へ帰りてはじめ
尾州瓶子窯にて焼るを唐物
と称し此時倭土和薬にて焼
けるを古瀬戸といふ古瀬戸は
高名なり大形なるを大瀬戸

といふ小形なる物は小瀬戸といふ
入唐以前のやきたるを口兀厚手
掘出しほといふ大名物は古瀬戸
唐物也唐土より伝へたるを
漢といふ重宝をぬきんでなを
唐物と混ぜへらんば掘出し
手といふは出来好しきとて一窯
土中に埋みたりしを後に掘
出したるを称す又後入唐後
の作は出来やゝしく見ゆるなり
藤四郎は加藤四郎左衛門の略名
なり口兀手といふは初め茶壺の
口を下にして焼し故にその
口をはげて薬あらはに厚手にして

〇二

作ぞくなりお煎餅手といふ六窯の
うちふとく火気能よくいて至上
薬の世地土ふくまでく出来る
ものなり
春慶ハ藤四郎が法名なり庵
乃ちきく形く出るより和乃
土と合せてやきけるく二代目
藤四郎作を真中古物といふ
今世ま藤四郎作と唱ふるもと
二代目とさしていふ也元祖
古瀬戸と称し二代目を藤四
郎と称するハ同名二人続き
出るるま混ぜざるの為唱へ
分るる也又藤四郎春慶とも

二代目をいふなり三代目藤四
郎を中古物といふ金華山窯
の作者なり四代の藤三郎とも
中古物といふ破風窯の作者也
正信春慶といふその作ハ正信ハ
何人なるや詳ならず是代まで
後時代春慶と称するも場
春慶吉野春慶なを後窯
と称するハ坊主手、宗伯、正意、
山道、茶臼屋、源十郎、姉、利休、
鳴見織部、捻貫、八口橋伴物手、
万右衛門なり又遠州公時代
小判手、江存、茂右衛門、吉兵衛
等何れも外国焼と唱ふる

〇三

その外薩摩、高取、肥後、丹波、
膳所、唐津、備前、伊賀、信楽、
廣東、写物、祖母懐ハ其乃国
焼なり大窯物といふも瀬戸
なれども是ハ後乃ものにて
漸く百年餘りの事なれバ
右後窯以下乃五焼ものも
州名物数多しまた名物
類聚乃説ふようらくそれ大
略としるし茶器鑒定乃
たよりに目利の次第を志るす
ものなり

○唐物 藤四郎唐土の土にて茶入をと
携へ帰朝して焼たるをいふ
土 朱 紫 藍色 淡黄
白 磁まで鮮色なり
薬 下薬飴 上薬黒黄
白薬又蛇蝎といふ
糸切違切なり細かにして又
筆之板起も有作為造なし
て凡目利し
茶銘ハ茄子之茶葉を文琳といふ
○古瀬戸 藤四郎の土薬にて
焼たるをいふ
土 白 淡黄 なまり色をふくめる
こ白なり
薬 下薬柿 上薬黒大瓶ニかゝる
黄薬もあり
糸切こまかなり
一體為造にて似唐物を上て
もて手作りなるを下とし大瓶
戸八大なるをいふ能為手あり

して上品なり

○春慶　唐土の土と和の土とを合せて作りたるといふ

土　淡黄　紫

薬　下薬様　上薬よりも色濃く或は黒

糸切　丸糸切なり

一体唐物にて上作之唐物の
よろしき一段上作にて肩衝と丹
乃ごとくあつからぬを取扱之

○藤四郎　二代目をいふ

土　薄　淡黄　白　唐赤

薬　下薬様　上薬黒或は黄又赤薬もあり

糸切　丸糸切本糸切なり

一体上作なり古瀬戸に似たる
ものあり中古物のごとくなるも有

惣体古風にてよろしきなる
ものなり

○藤四郎春慶　二代目をいふ

土　薄　白　紫　淡黄

薬　春慶口薬

糸切　口薬

惣体春慶の手にして能薬
ながしとろりと掛りて上品之

○中古物　三代目藤四郎をいふ

土

薬

糸切

○破風　四代藤四郎これも中古物といふ

土　白　唐赤

葉　下葉枝・上葉先
又八足

糸切　本糸切

一條上代ニて葉ニよりて被風よ
わ来る茶壺總ニ去八稱メ茶
布見なり

○朝日春慶

元祖友吉郎一年美濃ニ朝日
といふ所ニ入て焼しありと
或人の云此説まつりし本朝日
城よりかくぞう葉の文字ひかり来
雲ふ朝日のごとくふ姿をして出
名とふ朝寄まつこれ又とふろの
又の功者の秘蔵ありと云ても
大葉ぶ根合細工よし落手

ふて又そのまはひきくなき物
なり

○境春慶

利休の時代まおぬ物まて焼さる
と説あれど美濃と尾張乃
境ふて焼いぶせしなり濃ま八
濃金氣葉ありし事く又て
られし濃る物之大方ど一文
まて土の色も掃あり細工
よく取易又のふとゆるとの

○金氣春慶

葉之精治文のだく又ゆる
それあり形指合細工よく茶
半つ又ありなり

○伊勢手之事
伊勢尾張の境にて焼く所也
伊勢手といふ形指合似たるに
より云事とぞ
○瀬戸之事
みな焼のこと也るに瀬戸窯
にて焼ところのにて之事手
曲者あまり てに入る

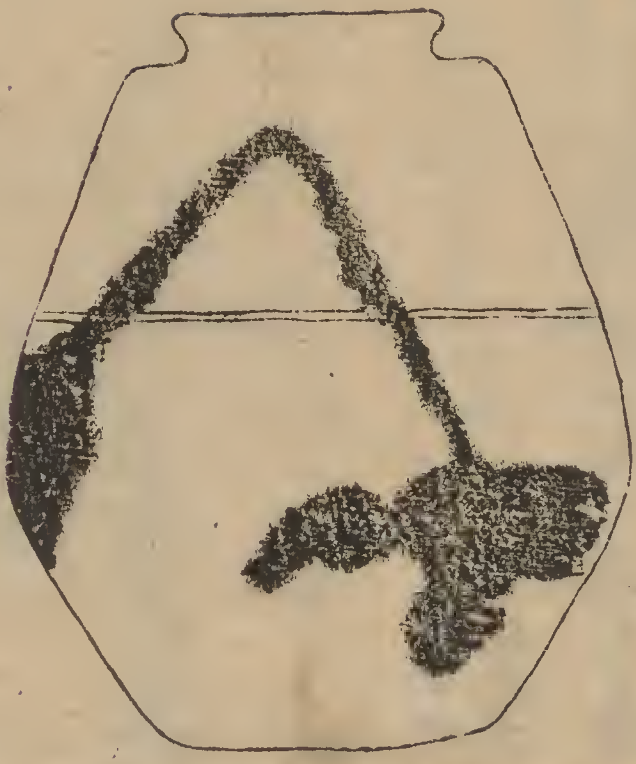
土　薬薄みへ一石目有様は
　こゆるなり

薬　下薬横色あし黒き有
　上薬黒み有て所々黄薬
　まじる也黄薬成り

糸切　ふつうのなり

一伊口造り様ゆし之事の
如し薬手なみなとも換之

○茶入之部
松平和泉守殿所蔵
富士山肩衝



一　高サ二寸五厘
一　胴　一寸八分
一　口　一寸七厘
一　盆付八分二厘
一　蓋一枚
　袋物紹鴎緞子縮緬

袋 四

一 白極純子 うらうこさ 筋ツカリ茶

一 蘇言切 うら同 筋びろうど

一 縲舎のむそう 裡おもし 筋びろうど

一 白茶道織とめ うら同 筋紫

一 袋紐書付なし

挽家 椎内黒塗蓋彫銘 桐

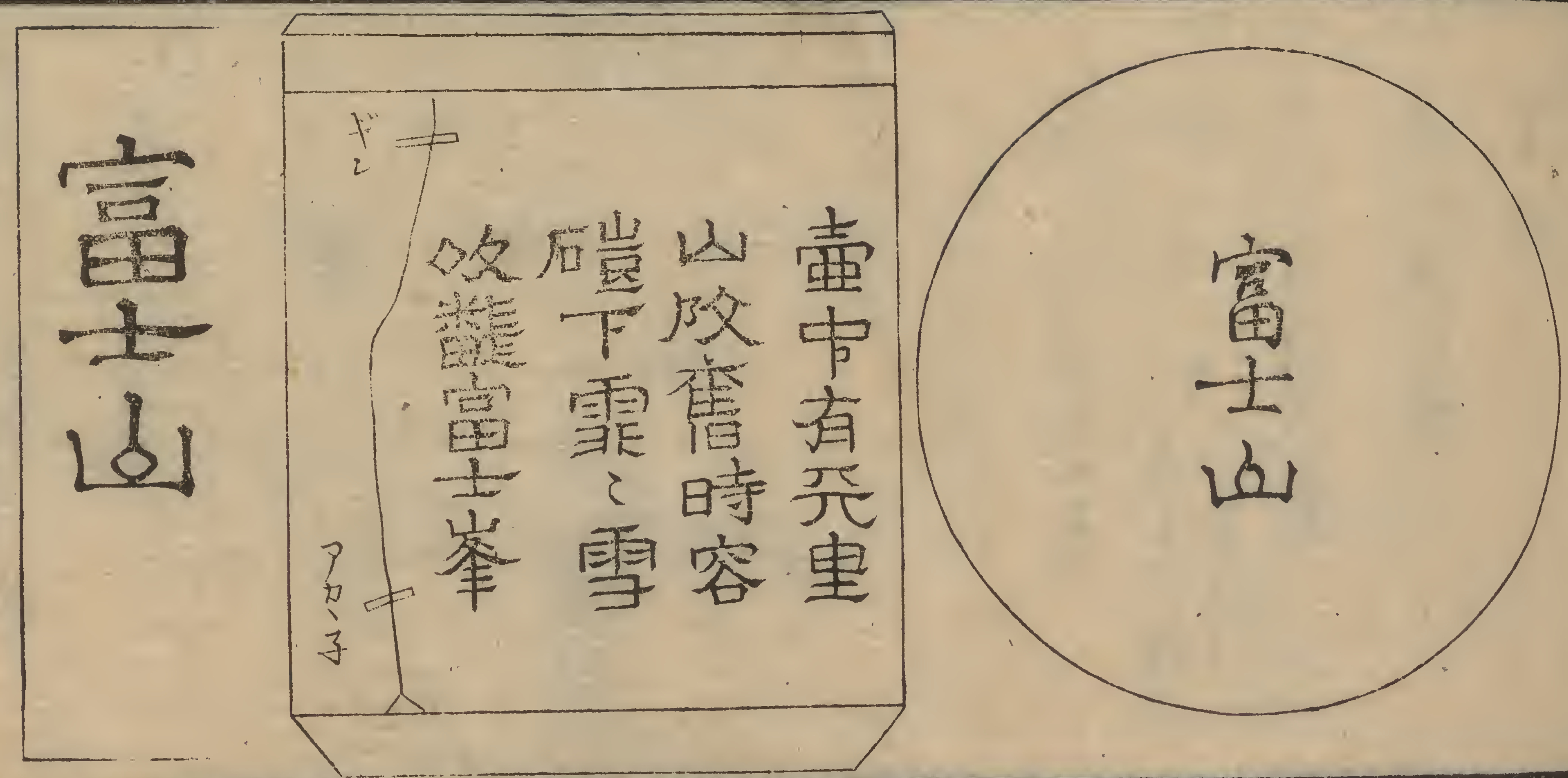
木錆なる入江月和歌なる

はらされびごとき織その うらかぞ 袋添ら

袋添裏筋ツカリ茶 箱 桐 まかを 古付

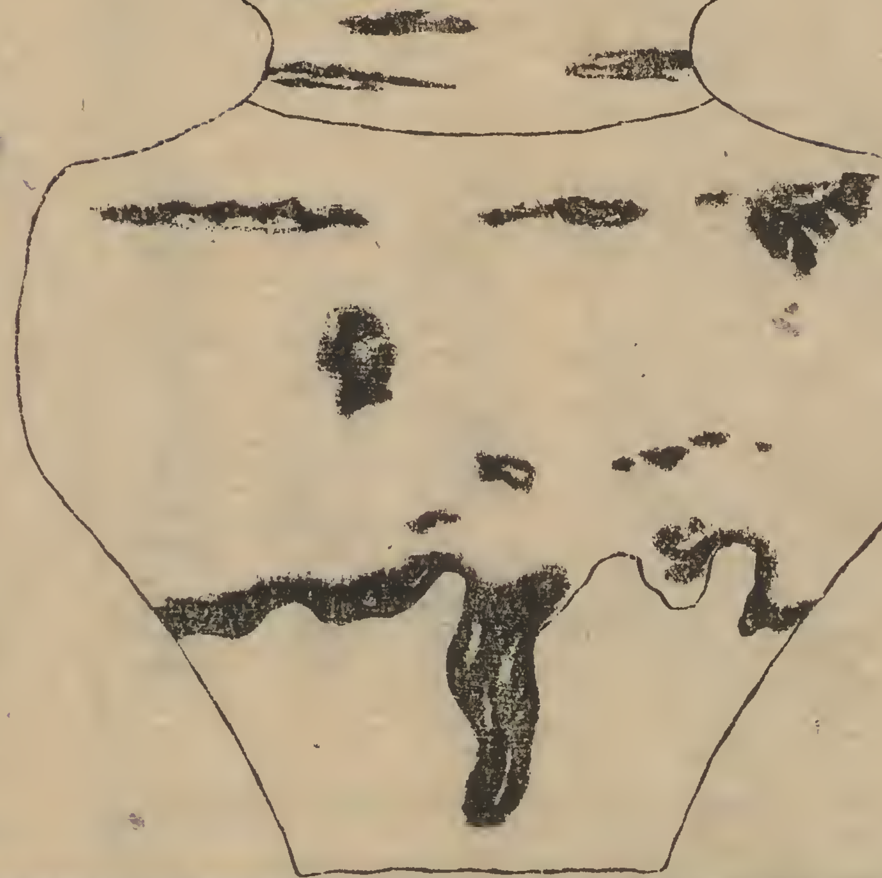
宗甫黒書了青蓋うらを

張なる



成瀬隼人正殿所蔵

隅田小肩衝



一 高サ二寸五分一厘

一 胴二寸四分 肩コミキ線より紐節有り

一 口一寸三分八厘

一 底一寸八厘

一 蓋五

袋

一 丹地唐花金襴

一 花兎緞子二重芝純子

一 日野かんとう

一 紫下切地金乃梅ヶ香る
　雲龍紋

袋箱書付宗甫

挽家黒塗書付銀粉

(堅田) 宗甫

袋もうる織 唐草唐桐紋とんすを

箱桐白木 書付宗甫 隅田肩衝

外袋深草

松平陸奥守殿江納

岩城文琳



一 高二寸一分四厘

一 胴二寸八厘

一 底八分五厘
山うけ有り

一 蓋四ツ
作不知一枚
忠宗好一枚
元傳作一枚
元古作一枚

袋四

一 白古金襴 裏玉虫海黄 緒ツカリ紫

一 柳地文円紋 裏萌黄かいき むらさき長緒

一 濃花色白極緞子 裏こけ色かいき 緒ツカリ海黄

一 鳥襷どん子 うこんさやうこさ 緒ツカリこむらさき

一 桐家花桐書付子む

権十郎筆

岩城文琳

袋押へんざ織 裏かいき 緒花色

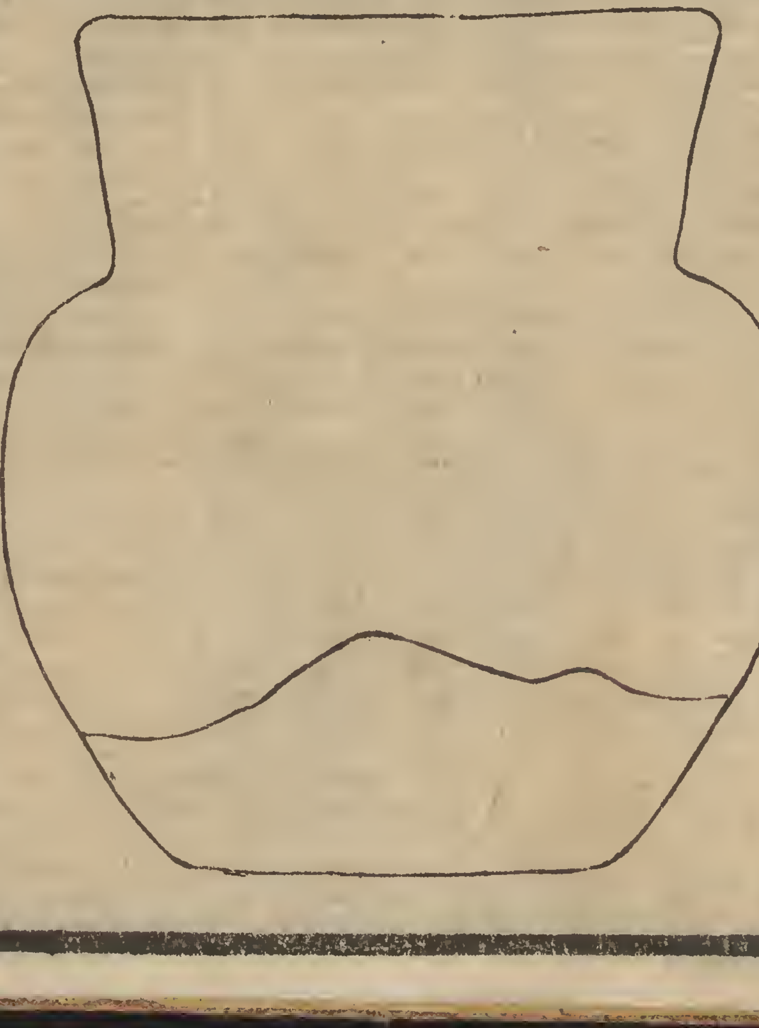
箱桐白木

四方青貝盆添

六寸三分指わたし

小堀和泉守殿所持

鮟鱇



膨ミ紙黒茶照筋八ツ茶入の
内ふくろ乃分黒塗底糸切
行り

一 高二寸七分三厘

一 胴二寸三分

一 口二寸二分

一 底一寸二分糸

蓋二枚内一枚窠

袋

一 花文石畳 裏もえぎかんちよろ 緒ツカリえびぢや

一 紺地かひとう 裏もえぎさらさ 緒ツカリ紫

一 廣東縞之内島つなぎ 裏むらさき うすちやろ緒 ツカリうす紫

槻家紫祖書付宗甫

鮟鱇

袋ちやむらさき緒 裏紺地 いろは書

箱桐四方さん書付江月

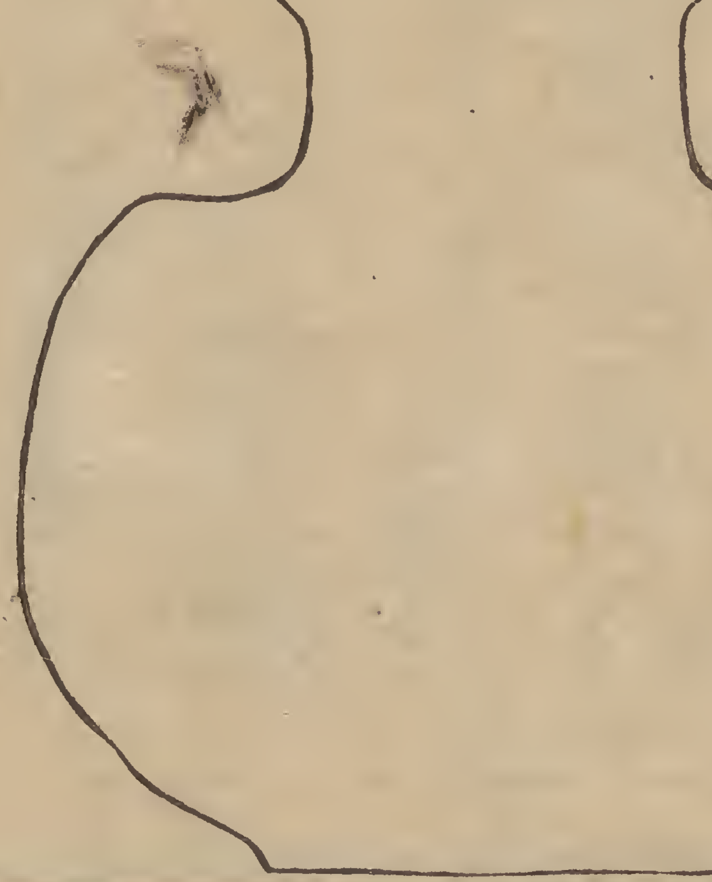
鮟鱇

替袋書付幸菴

鮟鱇

小堀家不蔵

古瀬戸相坂



一 高 二寸一分 肩ゟ下一寸八分八厘

一 胴 二寸二分二厘

一 口 九寸六厘

一 座 一寸分半

袋四ツ入 箱書付 相坂紙

一 紺地ろうど鳳凰紋地金 花色之絹 裏茶ちりめん 緒むらさき

一 亀甲緞子 裏うすむらさき 緒むらさき

一 花色梅鉢之緞子九金襴 裏あさぎちりめん 緒むらさき

一 茶地筋緞子織色絶 裏あさぎちりめん 緒むらさき

挽家黒柿書付宗甫

相麦

袋丹地緞子花子織紋 裏茶地ちりめん 緒赤茶

箱書付宗甫

相坂

相坂之記 本書ハ表紙紺地うつほ草紋らう 金銀砂子

孤蓬菴主一日袖小壺来賜
一碗茶之次告予云此小壺
元来無名如何目焉矣於于
茲有傍人不意吟古歌者

あふ坂のあらしの風はさむけれと
ゆくゑしらねはわひつゝそぬる

菴主聴此一吟卒目相坂予
曰何為然也
庵主云臨江齋山居之時以
右之古歌重而詠

相坂乃あらしの風とこそいへ
まとのこゝろそなかれゆくらし

玩弄小壺底同如這歌者
予予曰喏々是故便見需
着一語遮裹無復字依什

麼銘之矣雖然如何菴主
者予二十餘年之舊識也
難忌厥親戚賦一偈露醜
拙云

扉独閑玄何之紙被
遮寒樂此涯昨日非
兮今日是明朝難易
有誰知

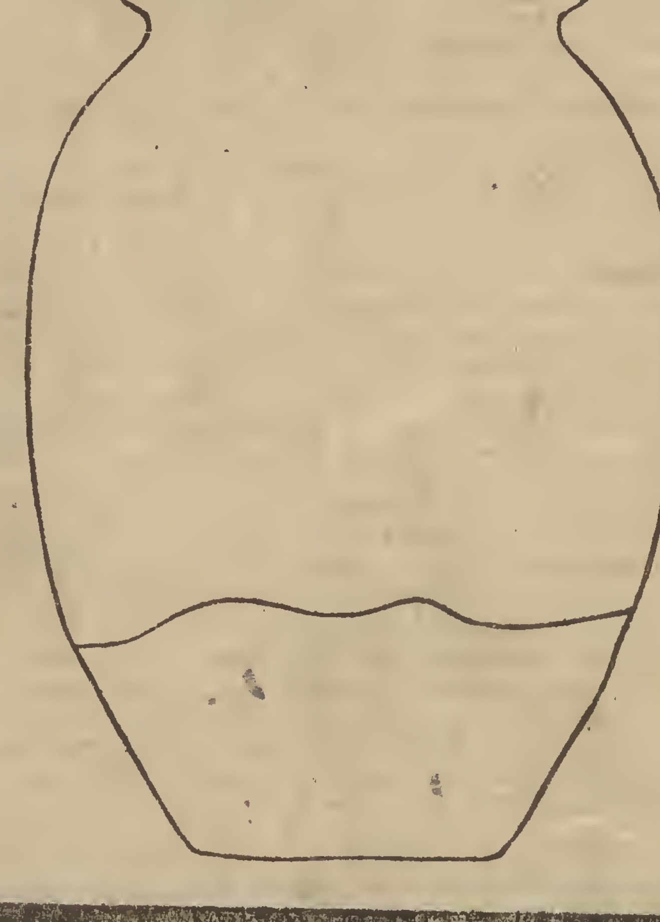
元和三丁巳臘月日
江月叟宗玩書
印

相坂添之茶盆
内外堆朱花彫物 渡サ六分
底黒ぬり張成造とあり
箔相乃紋あらはにてうるしあり
かいき箔書きあり

内赤五葉盆

小堀和泉守殿所持

在中庵



一 高三寸一分四厘

一 胴二寸七厘

一 口 一寸分半

一 底一寸

一 蓋 六枚 箱入 二枚 袋入

総地薬浮

袋八ツ箱ニ入

一 鶉頭 うらあさぎしゆつき 緒むらさき

一 荒枝輪違ひ紋金襴 うらかいきちやうくゝめ 緒うすむらさき

一 白花兎地紋菱 うらあさぎしゆつき 緒うす宗

一 丹地唐花金襴 裏との茶唐緒 緒むらさき

一 うむどう織物 うらこべちよろ 緒ふぢ文

一 萌黄地細菱金襴 裏玉虫浅黄 緒こび茶

一 もうる 裏玉むしゆつき 緒もえぎ

一 紋京入地小格子京緞 裏茶こべちよろ 緒茶いろ

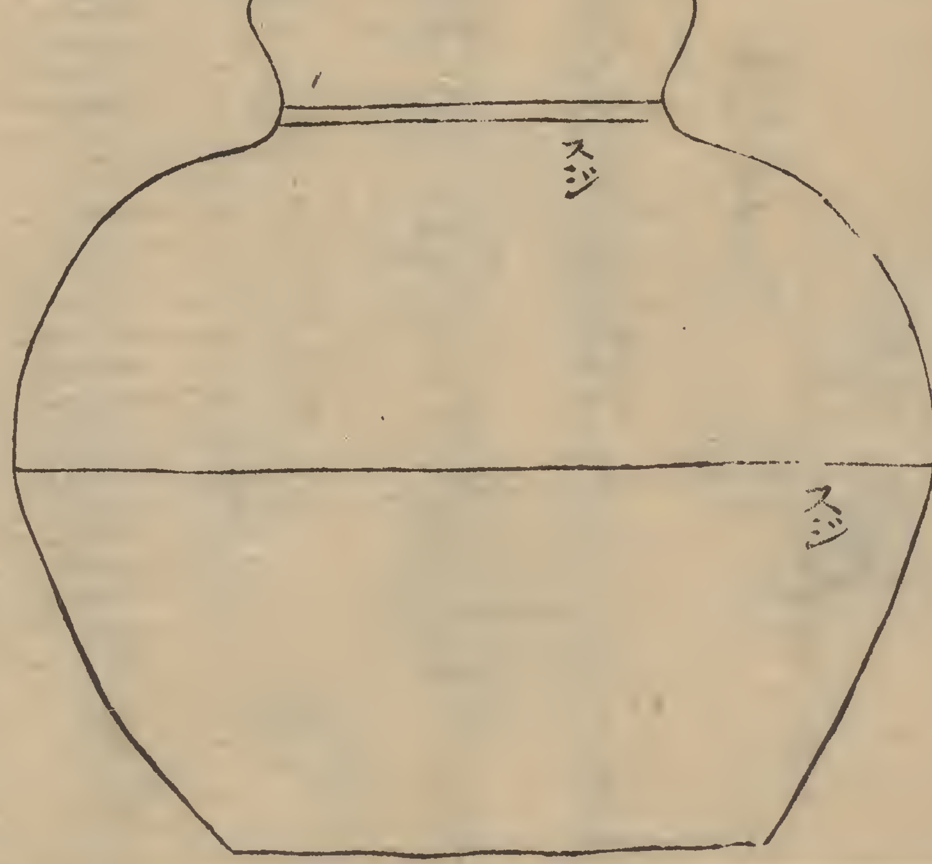
挽家竹中次縁瓶目
袋拵地金襴之紋跡
表し皮ふるき
法むしきれ
箱書消江月

瀬戸肩衝

在中庵

盆箱書付宗甫
一 六寸三分四方 高サ一寸
一 底 五寸四方 盆ふち彫抱
古 牡丹唐草内外花ふち菓文
袋表菊唐草地赤どもん

春慶口瓢箪



一 高 二寸二分
一 胴 二寸三分半
一 口 一寸二分
一 底 一寸二分三厘 薦系切
口乃下に筋二
胴ニ一筋

袋四

一 立なし筋小石あられ純子 つま黒袋 とけあり

一 茶地縞遠純子 表くだちや 緒もえき紅

一 金月うんかう うこんかつき 緒もえき紅

一 宗雪切 うこんうらき 緒ちゃお茶

撰家花うん袋緞子寿丸紋

純子 表茶まき純子 緒ちゃお茶

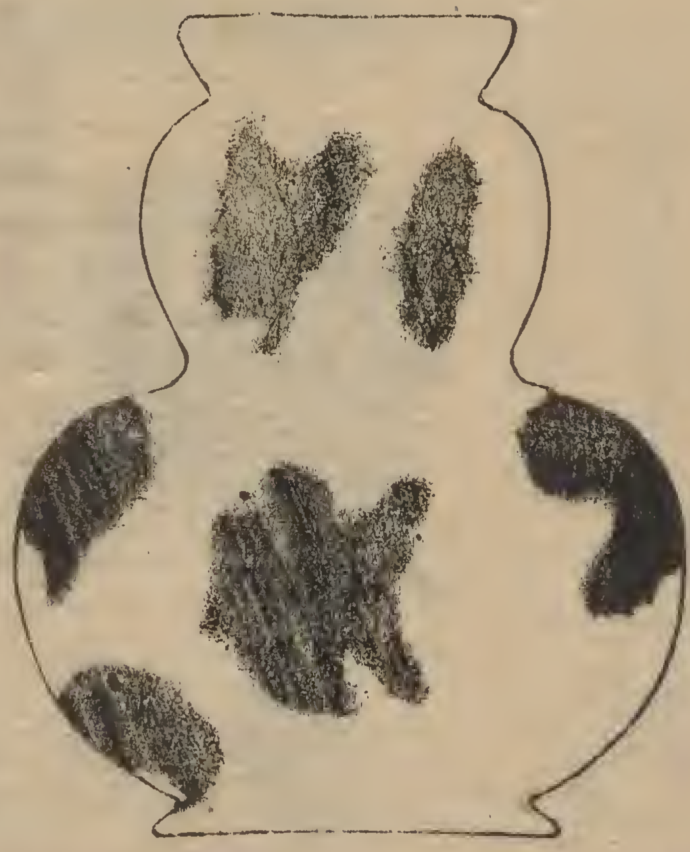
箱桐白木黒柿ふそ口そえ

蓋角遠黒柿ふてそぐ合せ

箱書付

春慶
瓢箪

春慶文琳茶
瓢箪



一 高二寸三分四厘

一 胴 上一寸三分六厘 下二寸二分半

一 口一寸七三余

一 コシキ二分余

一 底系坐一寸二分半

袋
一 紺地宝尽し緞子 くゝまへぐらべちまろ
挽家有馬瓢箪紋
外春慶内黒塗
袋紫地おんさ緞子紋 くゝふくり赤橋裏紋 緒ツカリむらさき
箱桐書附 宗甫

春慶

瓢箪

三井所持
孫四郎 思河



一 高二寸四分三厘
一 胴二寸二分余
一 口一寸二分九厘
一 底一寸四分
蓋二枚

袋

一 東月かんとう織安

一 そくざ錦石畳て

一 石畳どんすて

挽家花櫚

袋 紅毛木綿表阿明板

金ふん

思河

上箱桐書之

外箱黒塗箱付

うゝ不文紙

思河

思河 絶すなかるゝ 水のあわの うたかた人に あはてきえめや

松平出羽守殿不昧

宮崎聖



一 高二寸七分

一 胴二寸八厘

一 肩まで二寸

一 口一寸一分九厘

一 底一寸五分

蓋一枚窠 古書付ニ八二枚と あり一枚なり

袋二

一 白地金襴二重蔓四ツ裁 うらかいき 緒ツカリ茶

一 かんとう織よめ緒 表 同色

挽家花梨書附刻彫

宮城野

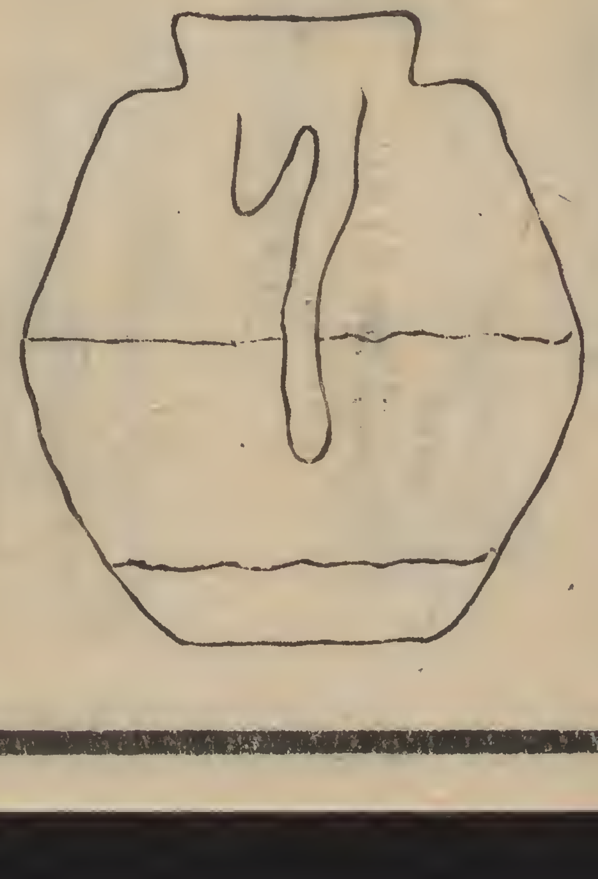
袋宥細川 うらみてきどんを 緒はつくとくぎ

箱黒ぬき合書付同色

様く江心ろとるる 宮城野乃 花の色くむしれ 驚く

細川越中守殿所持

塞 藤四郎春慶



一 高二寸五分八厘

一 胴二寸三分五厘

一 口一寸三分

一 底一寸四分五厘

一 蓋二枚窠 内一枚 下気他

輪糸切地茶濃掛

共流茶厚総薬土

袋

一 丹地飛文雲鶴金襴　こうらいさき　紘ツカリとくさ

一 紺地鳳凰宝尽古金襴　茶かいき　紘ツカリ茶

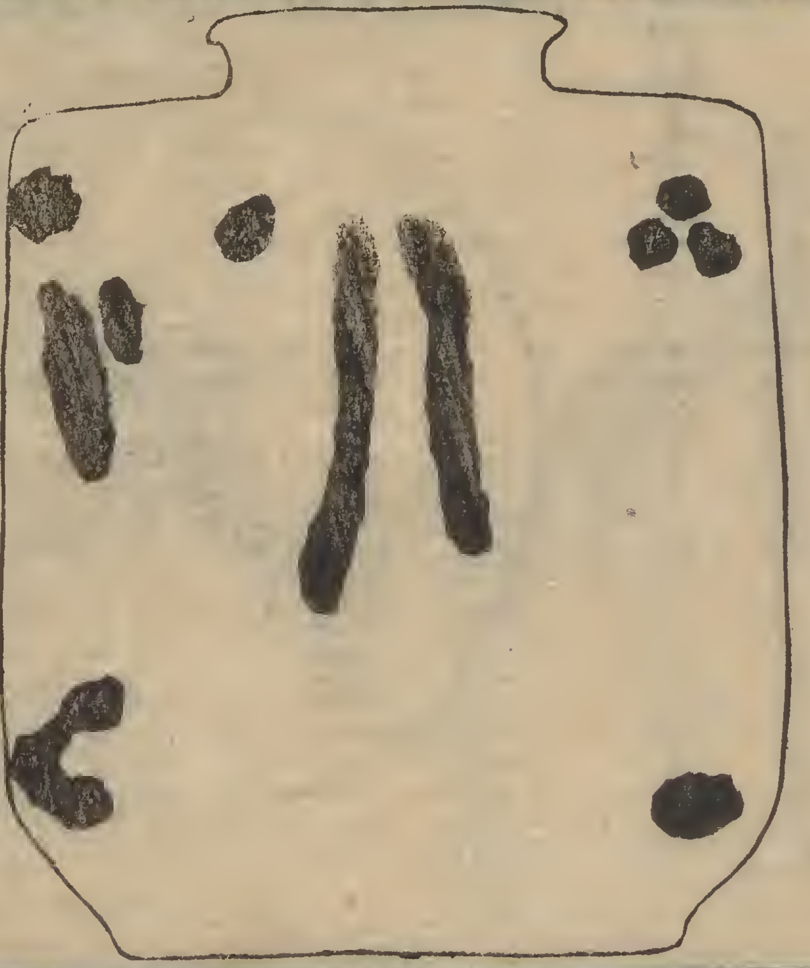
一 織三右衛門ひとう　うら　紘ワリ

椛家花桐　書付金ふん　紐えびけん紅　金ふんはくろい

袋何まさ河　茶何きれ　茶ぼくし　紘ツカリ茶

箱桐白木

三井訪花
破風篦



此手肩少カキ厚キ上薬ニタリナダレ

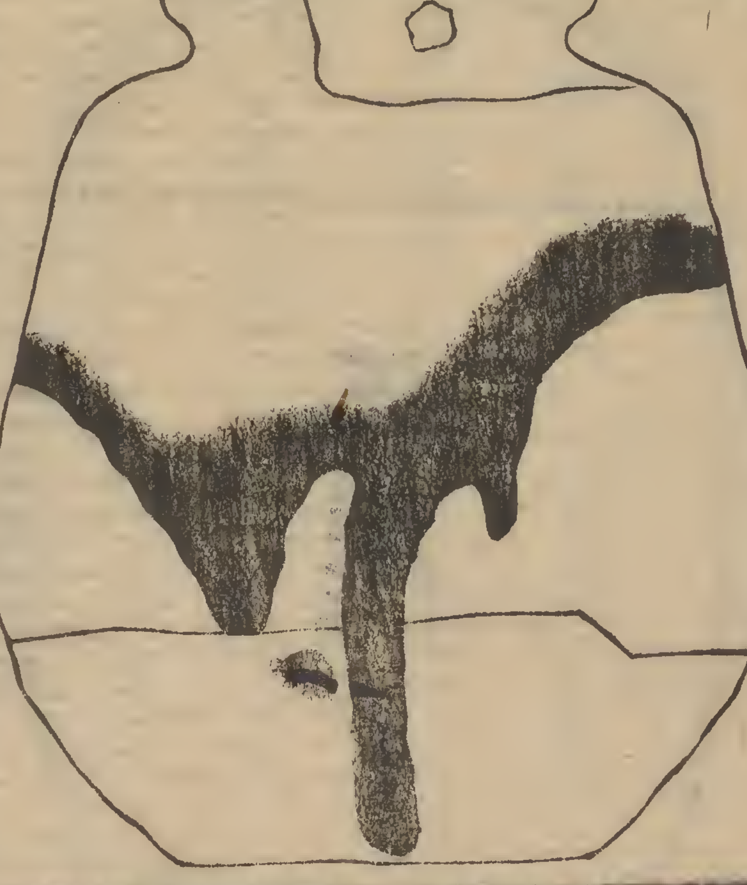
一 高二寸六分半
一 胴三寸一分二厘
一 口一寸一分七厘
一 糸切渡一寸六分
一 唐物袋淡黄梅文　紘ツカリ　とくさ

袋
一 唐梅地角龍 表玉虫らいて 緒ツカリ茶
挽家 時雨塗 内黒塗
袋 木綿 紅毛莫花文 時
表 緋子 うら 梅上布
緒ツカリ茶

筧

行さきはまれなりせめて山里の
うけひの水のあるままならせて
氏多紙宗甫筆
箱蓋表 金砂子紙

土屋相模守殿所蔵
玉川



一 高二寸五分七厘
一 肩一寸八分
一 胴 上にて二寸七分五厘 中にて二寸一分 下にて二寸一分五厘
一 口一寸二分三厘
一 底一寸一分五厘

袋四

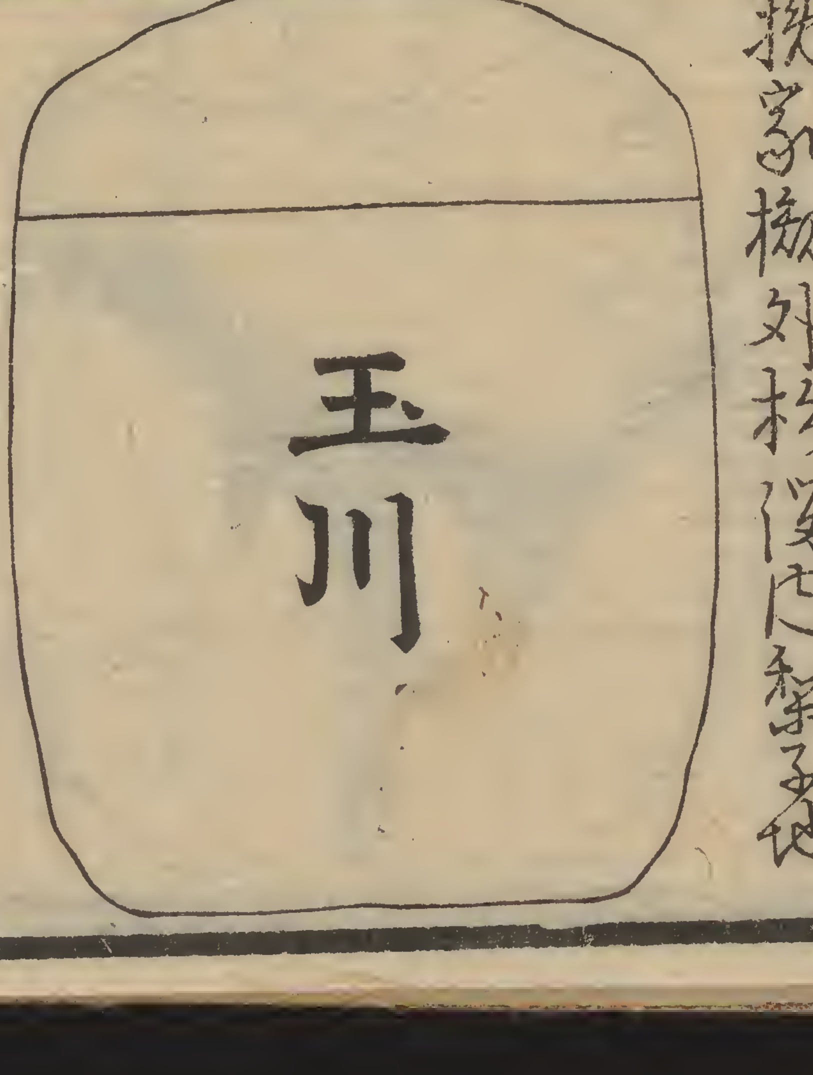
一 花色緋地 表うらちや 緒ツカリ糸

一 廣東 同断

一 銀襴唐草文 表うつさ 緒ツカリ糸

一 金剛切 表うらちや 緒ツカリ糸

挽家櫛外杉溜内梨子地



袋表廣東竪縞 裏どんすと緒ツカリ糸

玉川文紙 宗甫筆 詠玉葉集 宗尊親王哥

玉川

いまもまたゐる乃ら玉川
きしのはきていかなる浪
乃秋のゆふくれ

文紙寸法 ヨコ四寸三分 タツ四寸四分

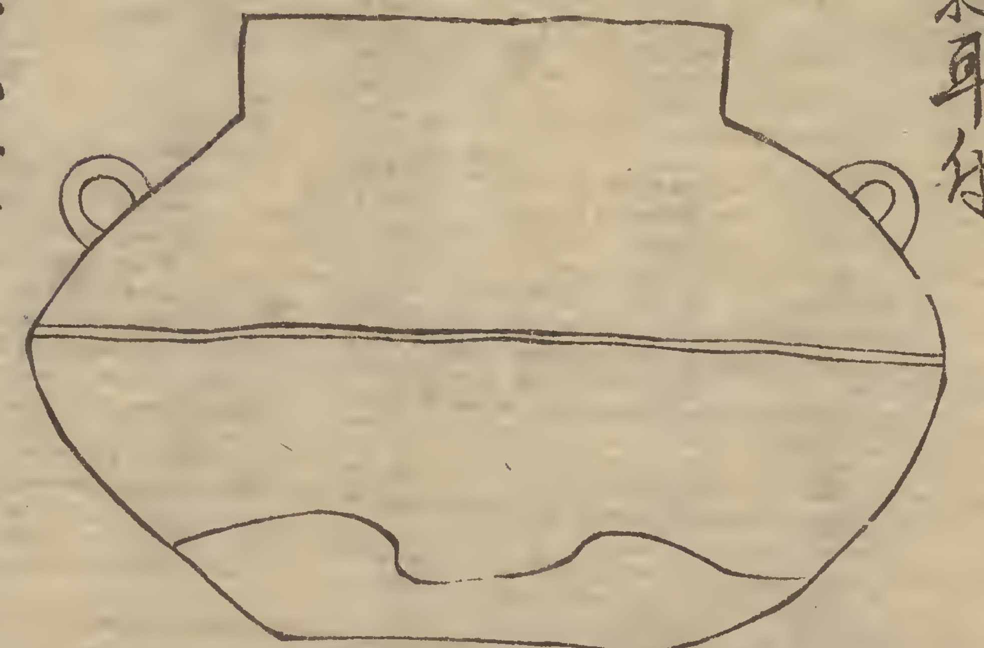
表具 紙中長サ一尺五寸五分 巾八寸七分半

上下唐浅黄雲にゆう紋

中白地雲鶴緞子

一文字風帯緋地ニ廣巾金

土屋相模守殿御所持
唐物耳付



小堀家所持
春慶絵付



名物茶入之部終

○唐物茶碗之部

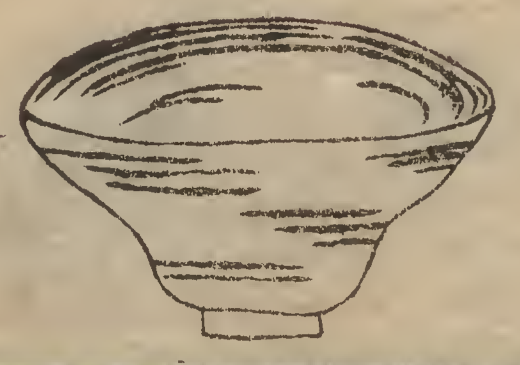
井戸　青井戸
同　名物手　井戸脇
同　小貫入



真熊川



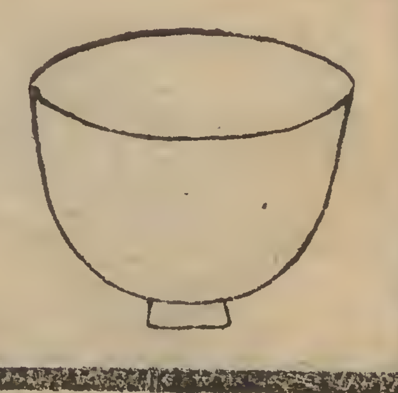
古刷毛目
無地刷毛目
朝鮮刷毛目
塚堀〻〻



古三島
彫三嶋
暦手



真呉器
大德寺呉器
紅葉呉器
切呉器
尼呉器



禮賓



真ノ斤手
鉢ノ斤手
頭ノ斤手



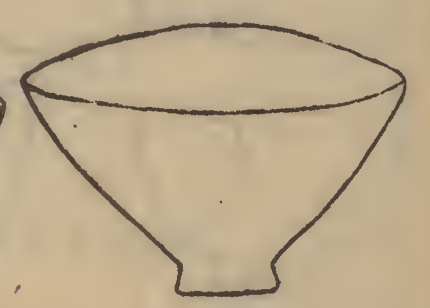
粉引



魚屋（トヽ）
柿のへた



古伊羅保
朝鮮伊羅保
黄伊羅保



蕎麦



金海



御所丸



青地人形手



御本立鶴

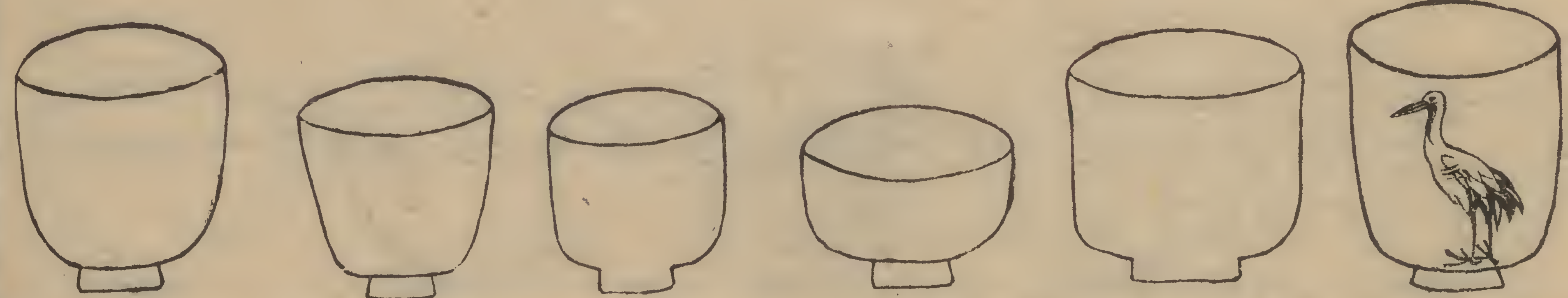
御手

ごとく手　安南
中渡　新渡
古赤絵　雲鶴

虫喰手　呉州手
嘉靖　萬暦

祥瑞

古染附



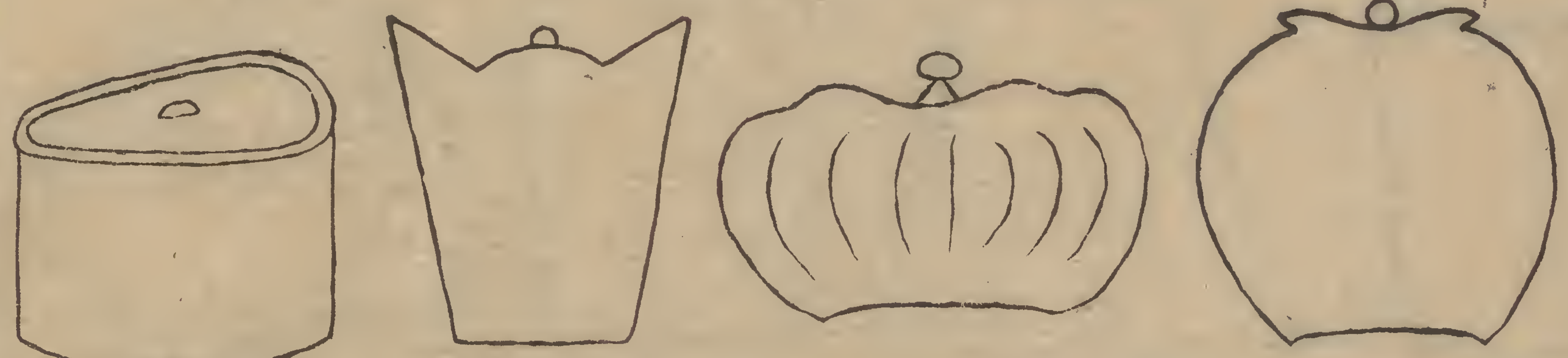
○水差之部

芋頭

おこど

矢筈

烏帽子桶



砂金袋



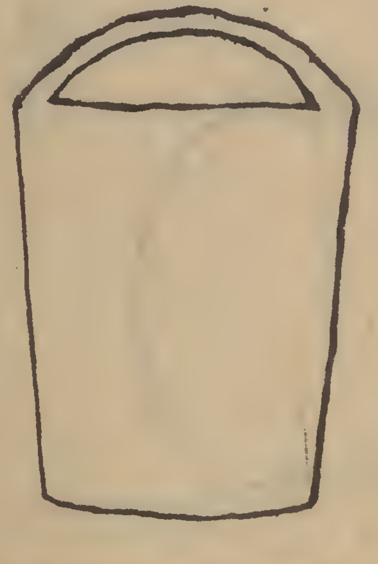
桶水指
團子ツマミ



鐘樓堂
宗旦好



四方釣瓶



あら角



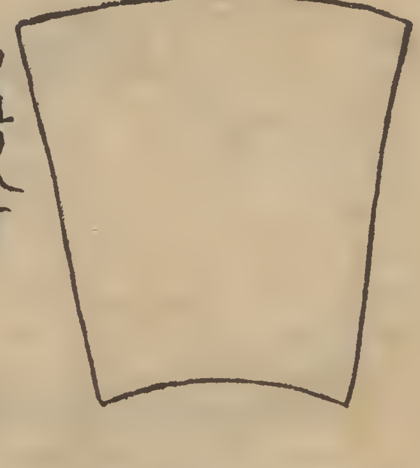
縄簾



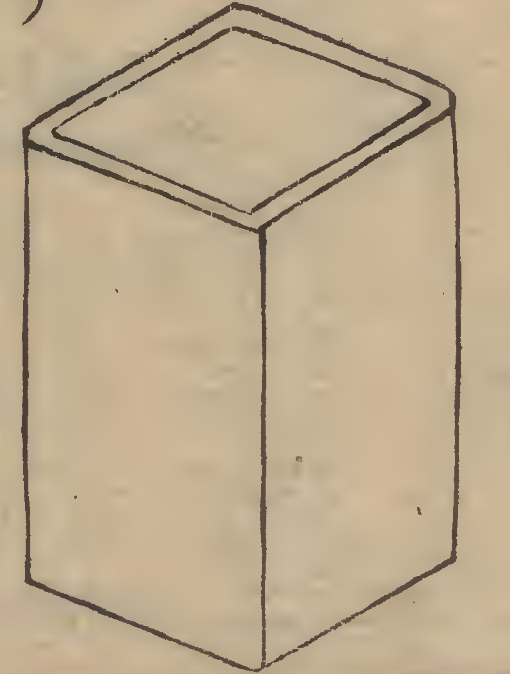
利休形耳附



鬼桶
紹鴎好



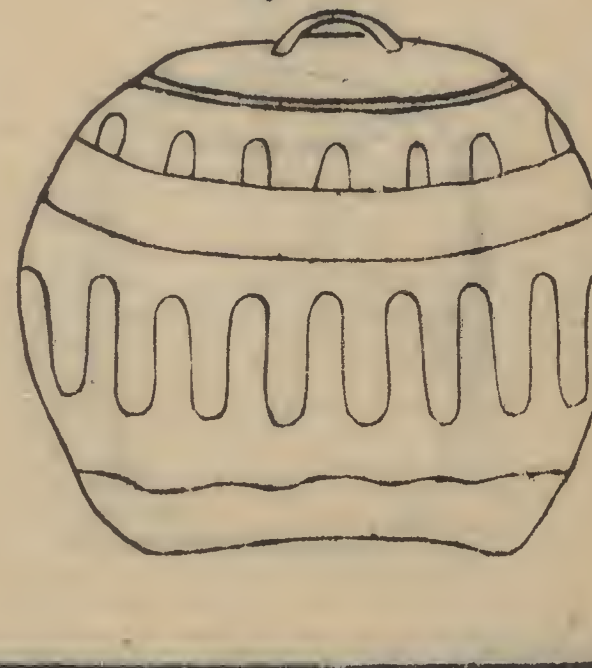
四方水指
宗悦好
佶ゟすう



火桶形
覚々斎好
餘菜



丸水指
覚々斎好



寒山



南蛮
頭巾



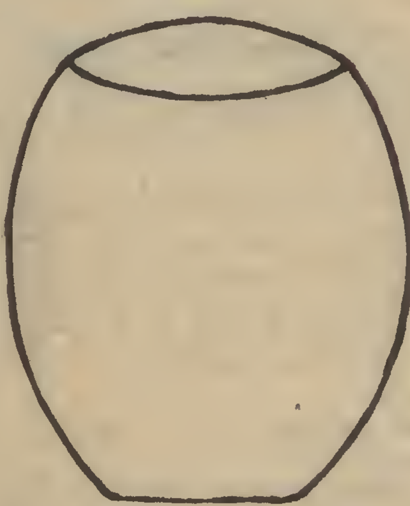
やしき
水指
庸軒好



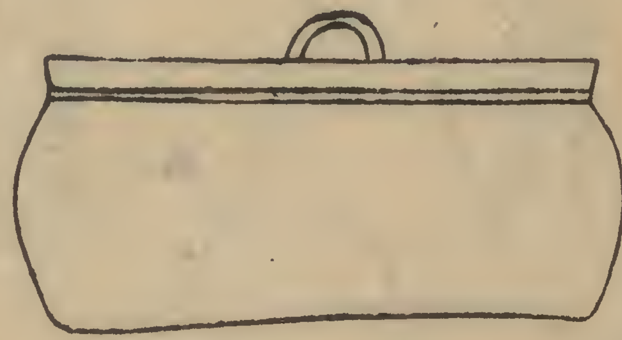
あほい
ゑびす
耳



棒の先



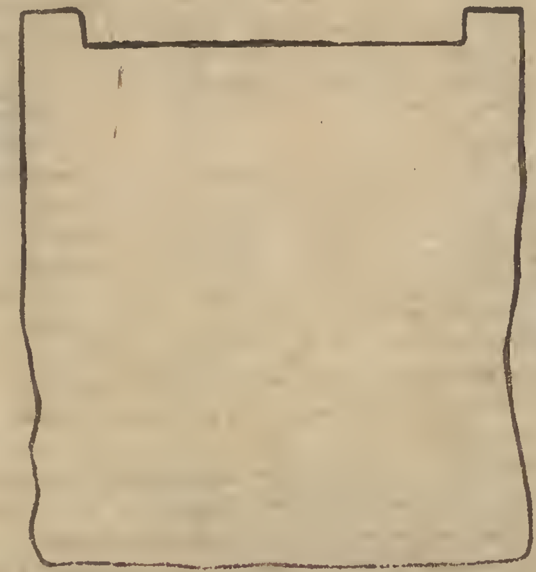
平水差



大服差

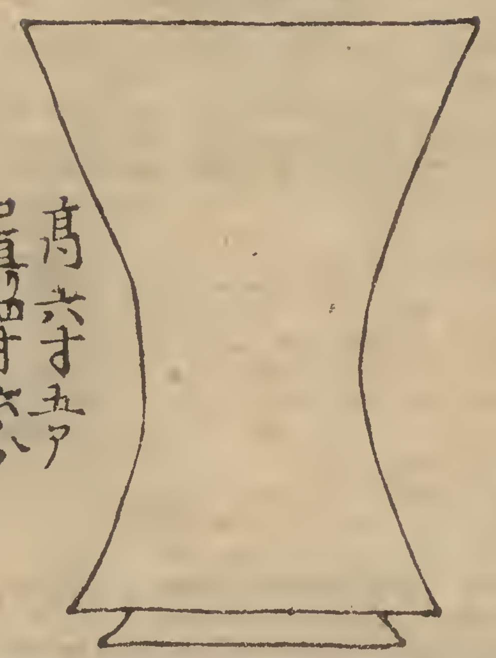


指替



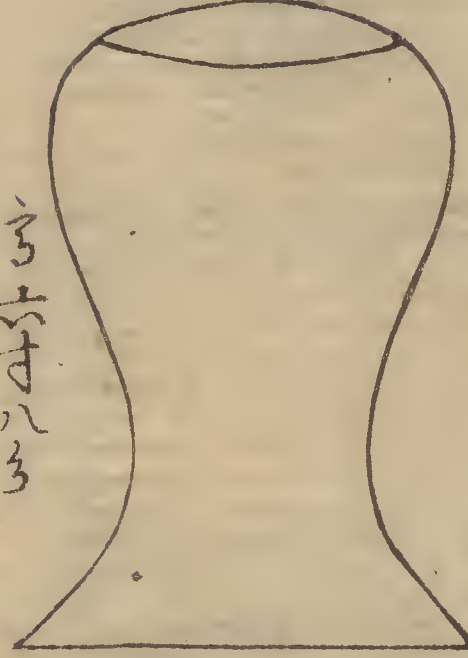
○花入之部

立鼓 置花入



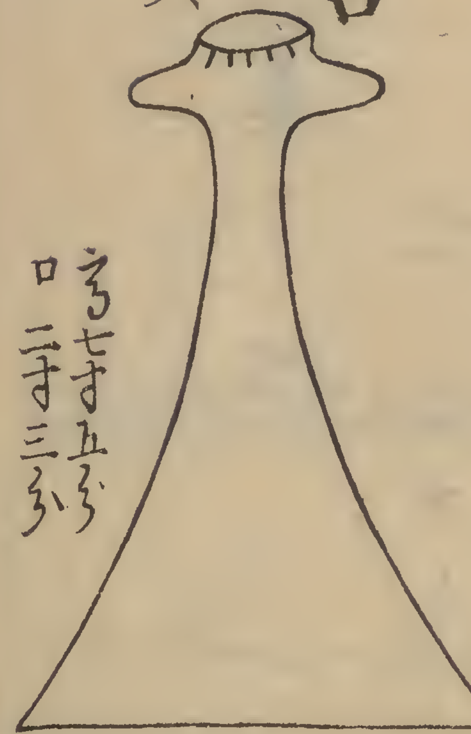
高六寸五分
口四寸六分
下二寸六分

旅枕 置花入



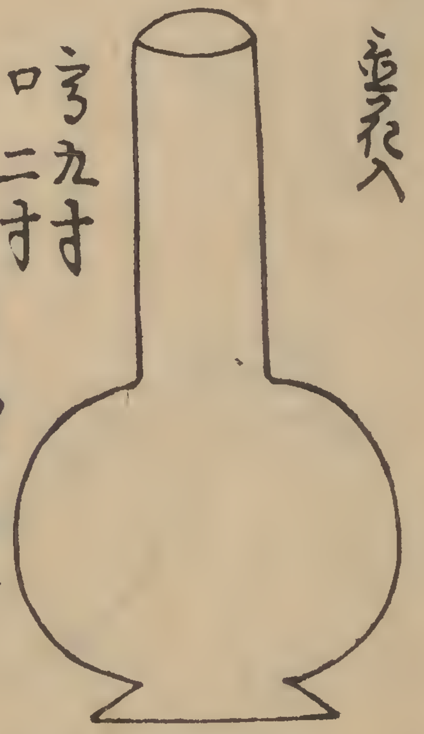
高六寸八分
口三寸六分
下三寸九分余

樋ノ口 壷花入



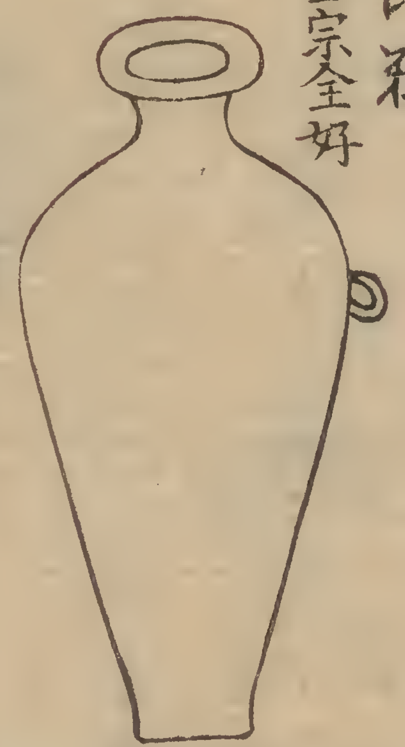
高七寸五分
口二寸三分

碪 壷花入



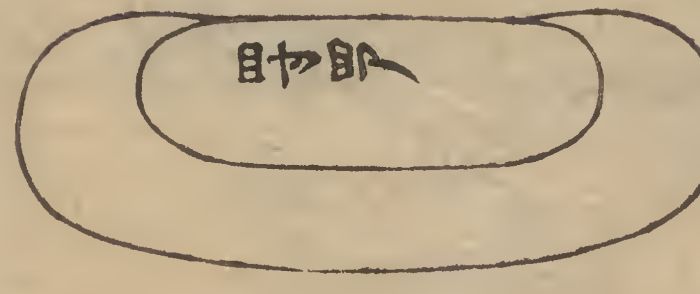
高九寸
口二寸
フクラ四寸五分

餌籨 久田宗全好



高六寸
口二寸
胴四寸五分

釣船 旧好



長七寸二分
高二寸八分
中四寸一分

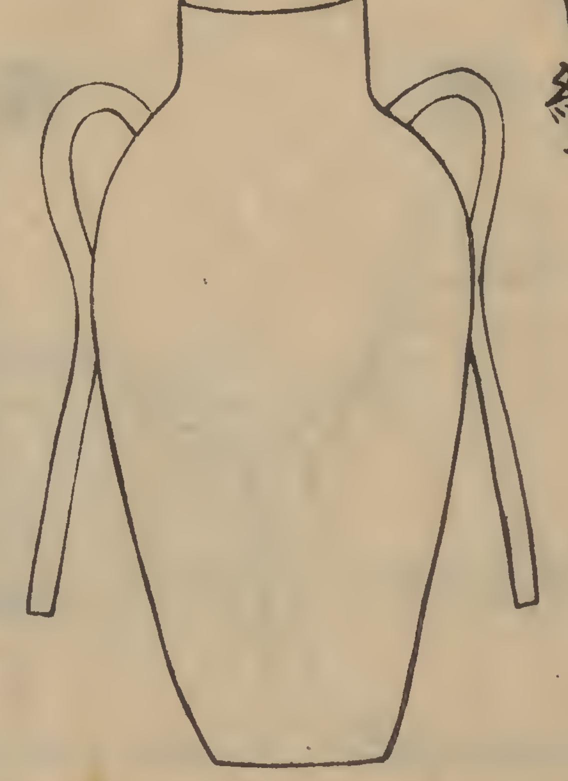
ちどり笠
古銅宣徳色
高 九寸
口 五寸
蓋ノ廻 九寸



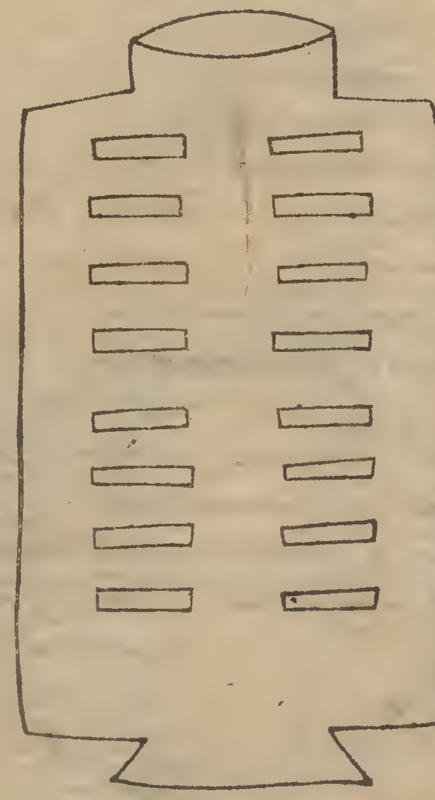
柳葉



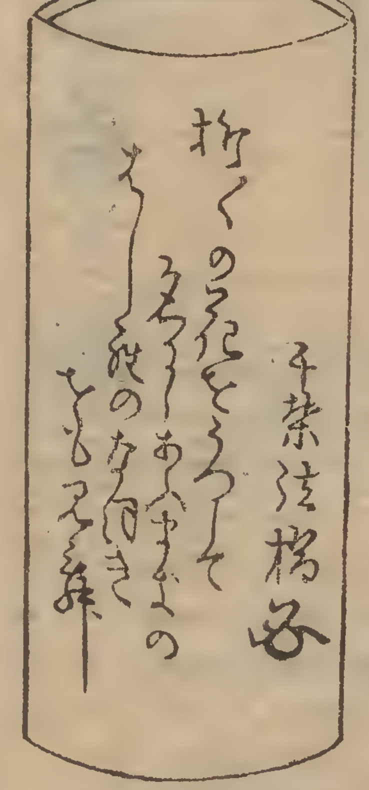
南蠻 高壱尺



経筒 高 六寸五分
口 一寸
胴 二寸八分



槙木柱 黒塗金絵 高一尺一寸
口 五寸



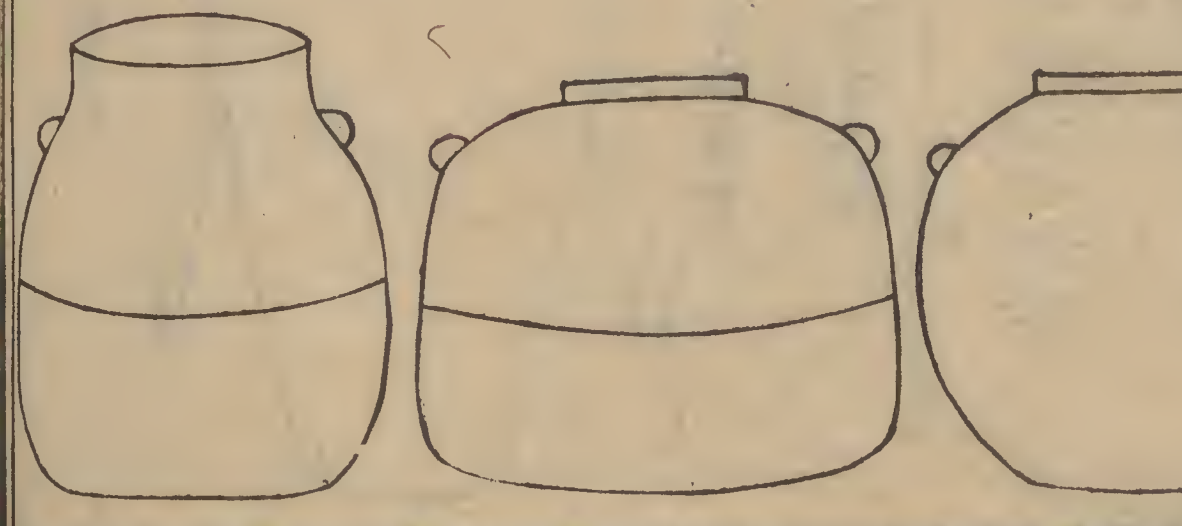
○釜之図

阿弥陀堂

丸釜

尻張

國師



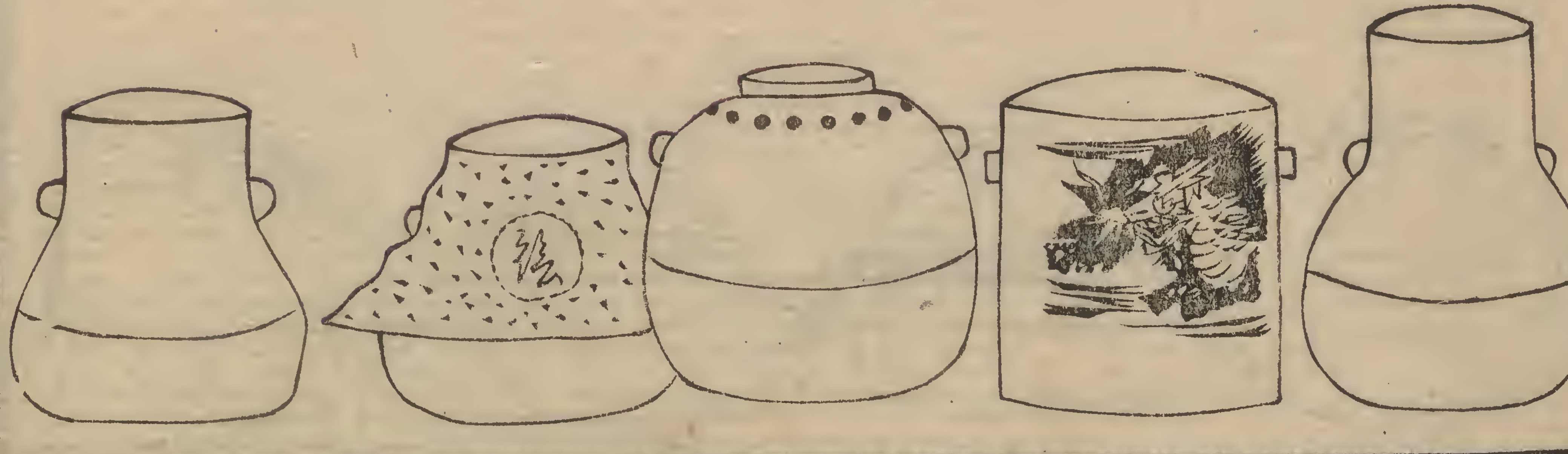
鶴首

雲龍

万代屋

芦屋

のんどう



夜学胴



冨士



千本松



日の丸



油屋



のみぜ



太鼓胴



すはま



上浮底



瓢箪



真掛



四方



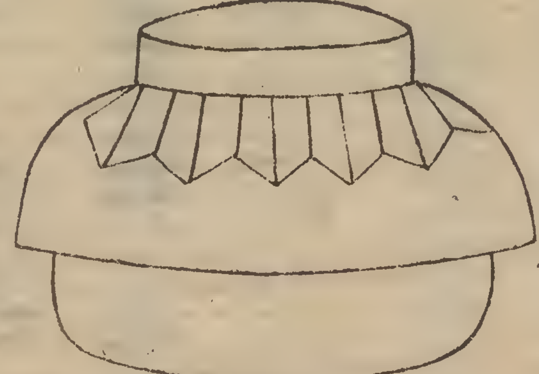
車軸



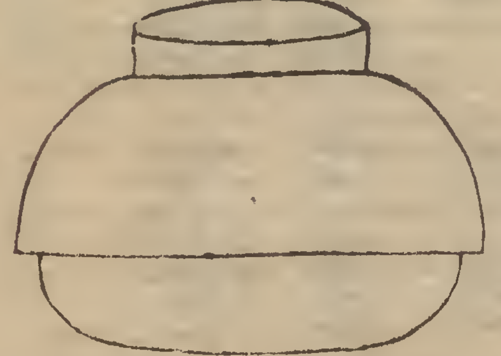
卐字



釵先



切掛



〇日本物茶碗
伊賀　信楽　織部
萩　黄瀬戸　瀬戸黒
仁清　唐津　備前
膳所　志野　乾山
白菴　朝日

〇唐物水指
南蛮縄簾　南蛮〆切　南蛮鬘貫
同芋頭　同海老手　同附子末
同冬寒　朝鮮芋頭　島物
青地天龍寺　同きぬた　同浮牡丹
同弄木　同七寒　同ちゞみ手
同かくらう　阿蘭陀　すんかうく
染附赤絵　古染附　祥瑞

萬暦　嘉靖　古赤絵
呉州　廣東　中渡
新渡

〇日本水指
伊賀　信楽　古備前
備前伊部　同焼き　同田土手
瀬戸　黄瀬戸　志野
織部　丹波　唐津
仁清　乾山　膳所
萩　朝鮮唐津

〇楽焼手造
宗全久田氏　光悦　仙叟
原叟元之寿　宗左如心　宗安商翁
宗室一燈　宗佐江岑

○釜師

与次郎　時代　浄味

道也　道爺　道弥

九兵衛　浄玄　清右衛門

弥兵衛　江戸作　江戸如林

江戸如清　加賀寒知　天猫

筑前屋　越前屋　伊勢屋

○堆朱　堆黒　十作

紅花　張成 大元年中作 上々作

存星 大元年中作 上々作　揚成 上作

周明 上作　張玄 上作

王圓 中作　呂録 中作

黄城 万暦年中作 銘有之　印黛 細工美ノ数 後ノ印ト云モノハ二代作

凡例

一 上代ハ金彩絵ハ金ニて蒔ハ金箔のみなりハ金ハ唐土ニて金襴なきゆゑの製なりしと云説有と詳らかならん

一 古金襴と称せる物ハ日本の文明以前舶来せる物也し其以後の物にてハ安永天明の手ぎハにはまでハ元大明弘治年中の製にて宋元の昔の製にハ及ばざるべし

一 名物織物の時代ハ茶人の袋入羽ゆる大サ四寸五分ほどの切二ツ位二寸四方切一ツにて乃甚なり

一 古き織物ハ多くハ切レにて足ハ

其後古大江子星(行縁卿従五位下)唐人を
招き綾の機を織らしむ世人金銀
衣のことゆゑ主として作りおきて綾
錦を織て和朝始て綾の機
元明天皇和銅五年七月伊勢
尾張三河駿河伊豆近江越前
丹波但馬因幡伯耆出雲播磨
備前備中備後安芸紀伊阿波
伊予讃岐等廿一ヶ国をして始て
綾錦を織しむそれより此方六
十ヶ年余を用ひられ其の鑑定
給ふべきとされども上代の
切の中に唐土の製またまじれ
ありて様々少なからずとかや

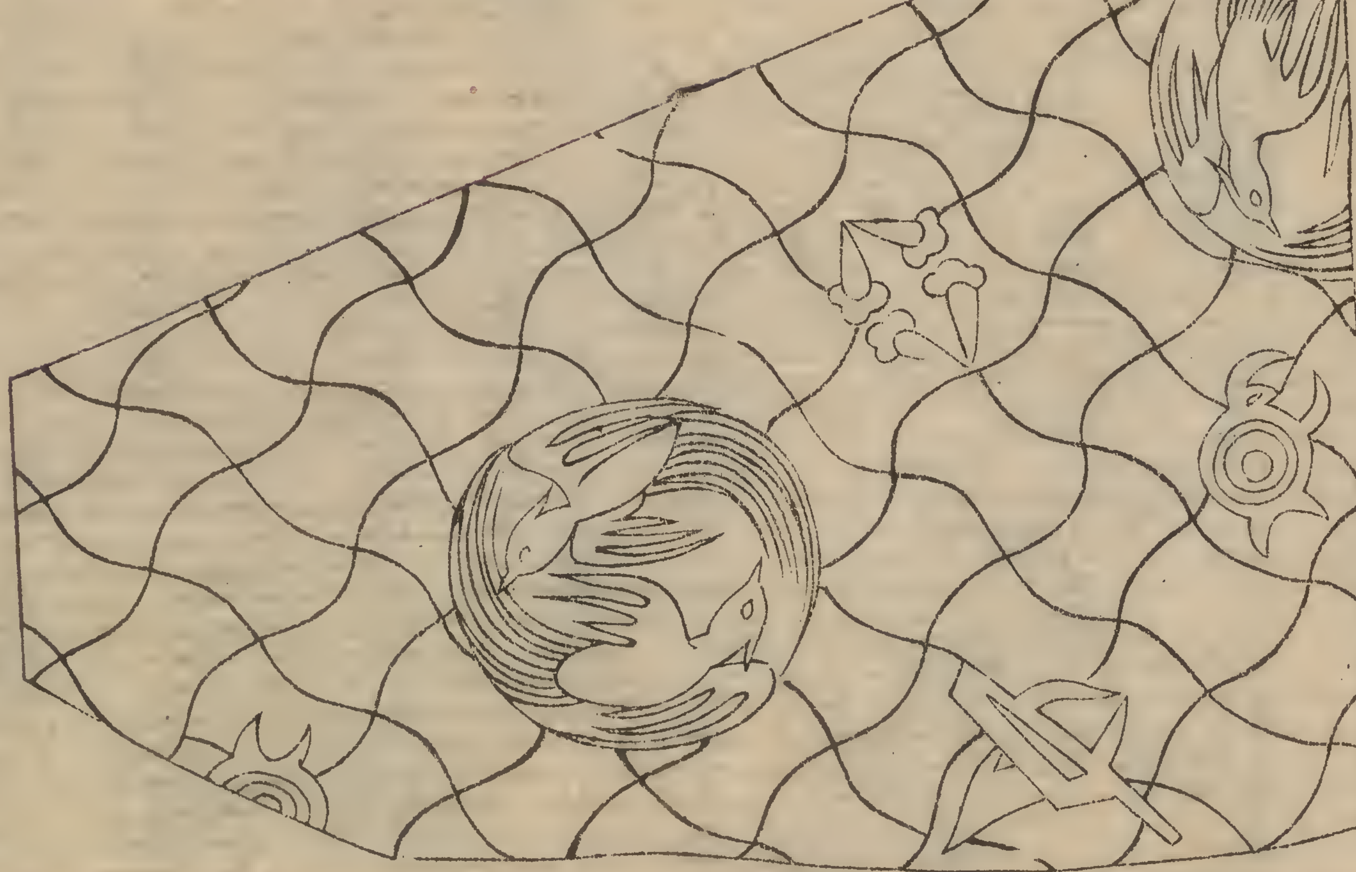
古今名物切

○緞子

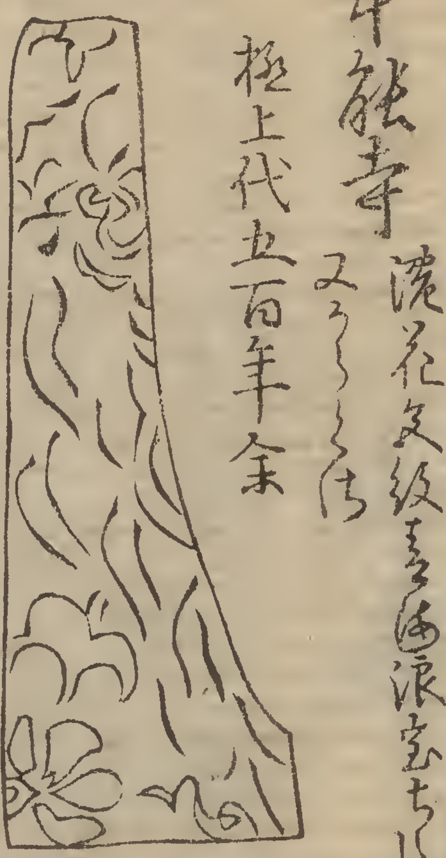
白極 花文法黄緞なりて地紋綱よ
尾長鳥二羽の丸宝ちらし

○白極ハ東山殿乃蔵られたる緞
子みるのうちの蔵物よりこの時代
袋よこをらひしるまで

極上代七百年余



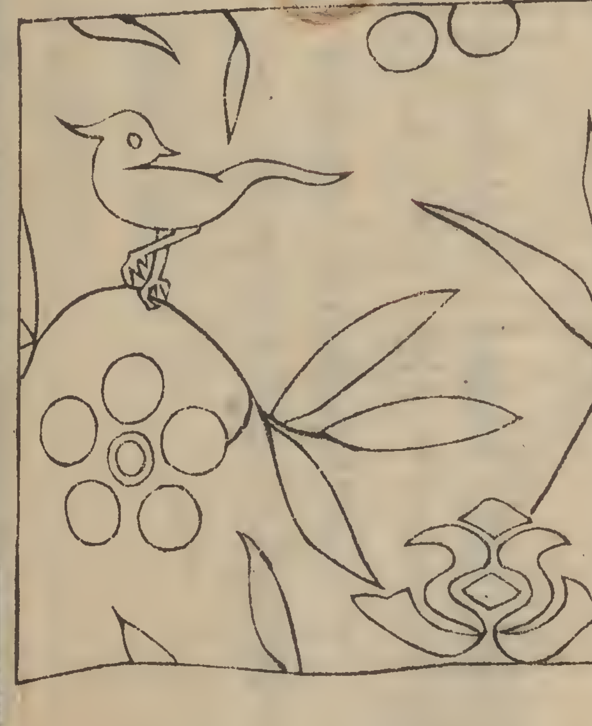
本能寺 浅花文紋青海浪宝ちらし
またしほ
極上代五百年余



無法る 浅あいこゑ茶
地きんふご茶
上代三百年余



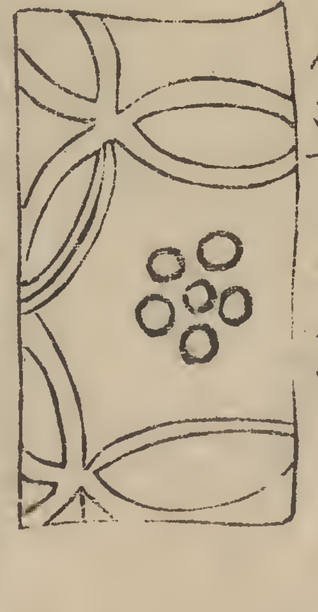
同る入



正法寺 花文浅黄紋をちらし地紋
二重菱菊からくさ
極上代五百年余



宗薫 花文地紋浅黄白大さび七八分ばかり
うすもの綾ひ乃井ふ宝ほくし
○一説花文さや共紋様遠宝ちらし丈
とゆうりてそゝこれやうふこゆるの
亀甲の六ほう遠ひなりとのふ
極上代六百年余



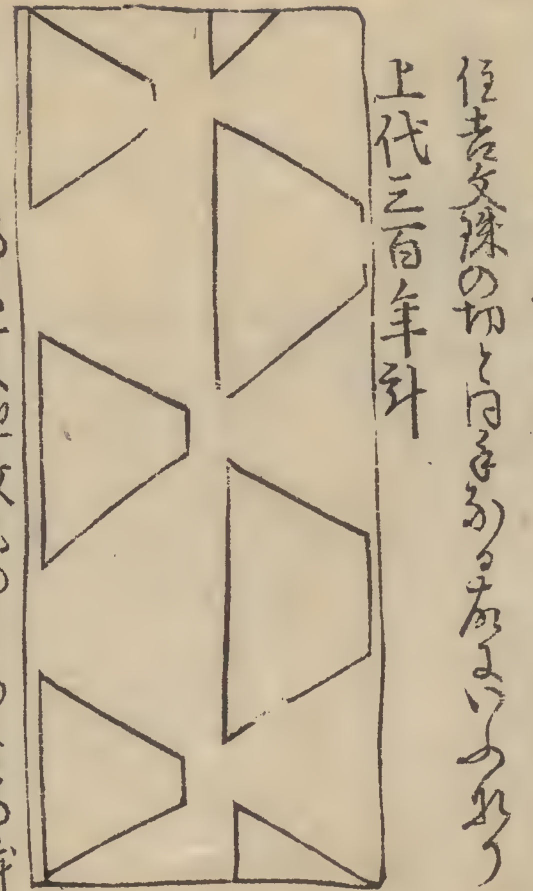
道元 むら文地紋ねずみ地紋丁子色
其上手の緞子なり
上代三百年余



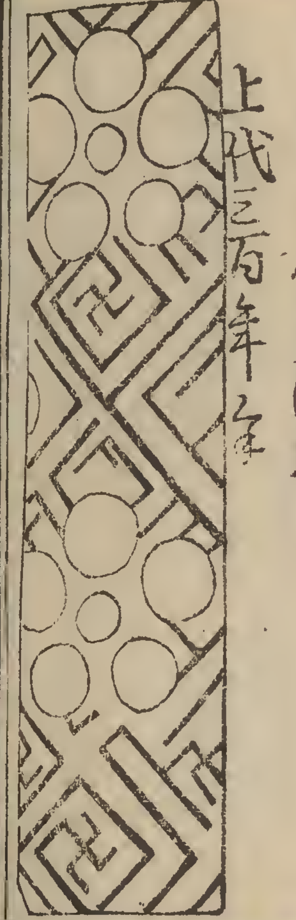
雲鶴　うじ条紋きぶら条文かぞ茶地
紋白霍大寸二寸計の切あられる
二百年さきるまおきのなり
上代三百年余



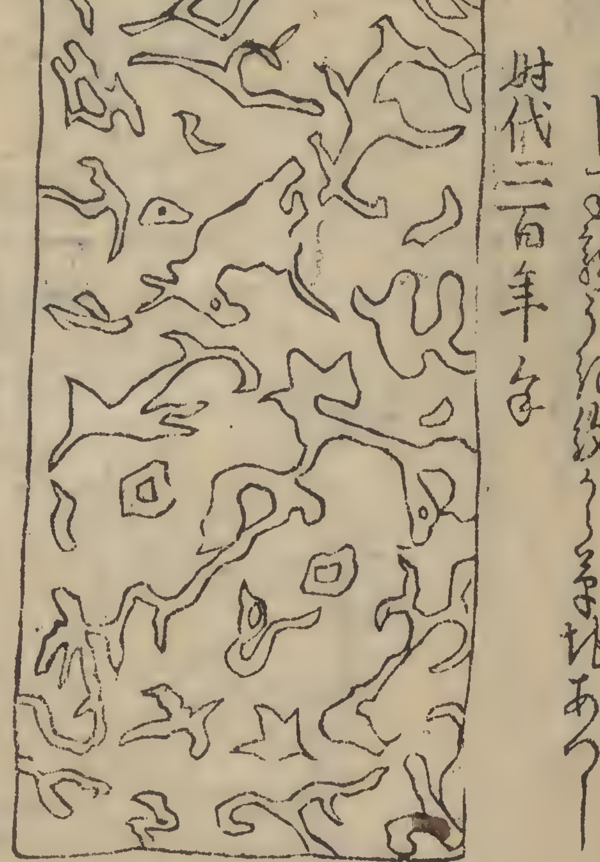
住吉　すみよしざ花うふぐ紋四分斗のうろこ
紫之文地あをうちうぬ紋黄かぐ茶
住吉文殊の切と同手なるあまいふなり
上代三百年斗



菱種　蒼花文地紋丸のちらしまあ斗
まんじ字法れさき
上代三百年余



紹鷗　花文地黄か条い又ゆうくら
白鏡う紋う年地あり
時代二百年余



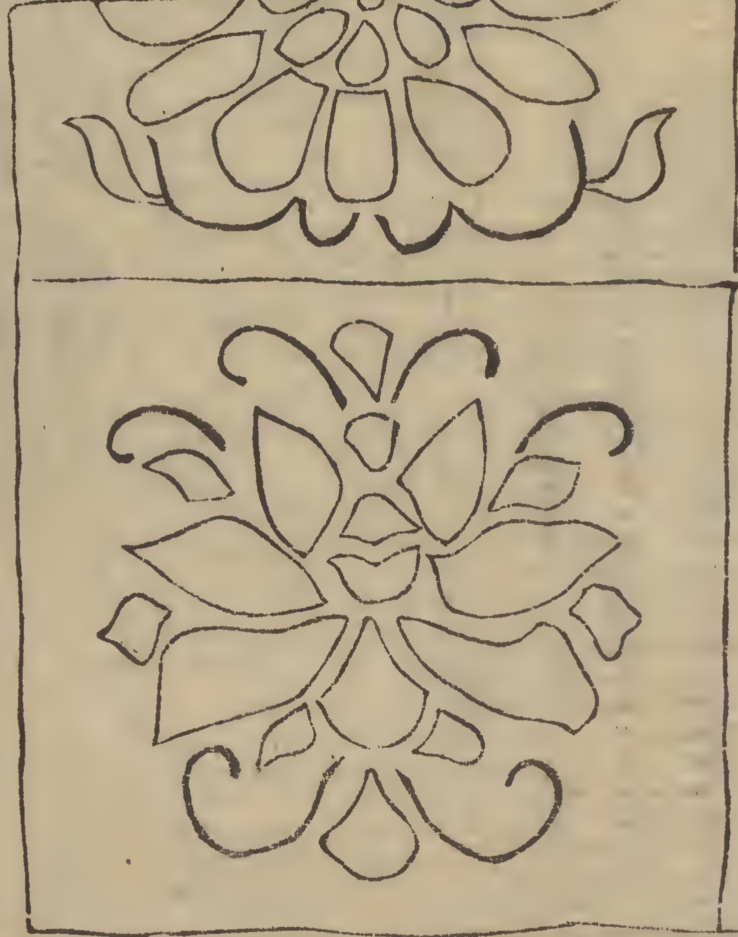
亡羊　花文地紋茶唐花抜ニ鳳凰
大サ七八分計○三宅亡羊の好織
とふ又伝説抜て亡羊母の唐織なりん
時代二百年斗

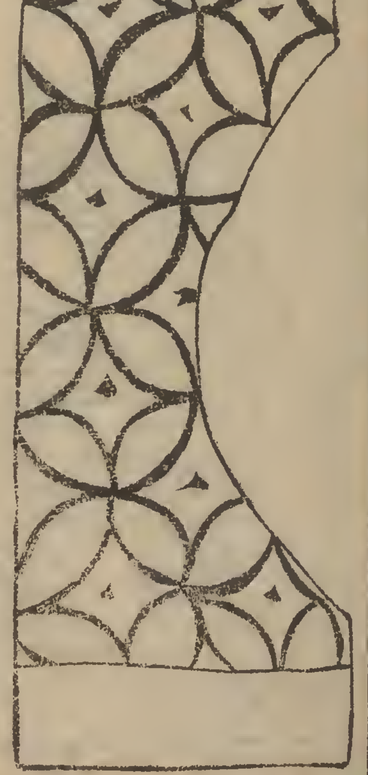


遠州　一寸二三分まゝのまるみあさぎ之花
内に宝一つ宛ほうりあいあい之紫
又紋花菱ちがひ大石たゝみ白浮
文かくしほうきつ格子
時代二百年計



同　茶文紋ニ入





細川　浅黄地緞子ちさね入紗々地紋
うちに入金字みやまの内百ヶ所
時代二百年余

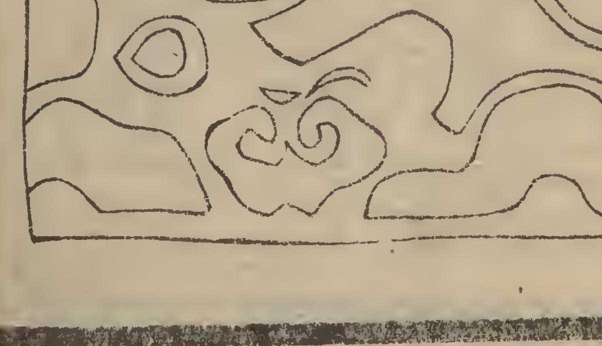


宗珠　濃き人金ニ紗紋花又良の相する
紋の内ニ梅乃折枝松梅の折枝
時代二百年計

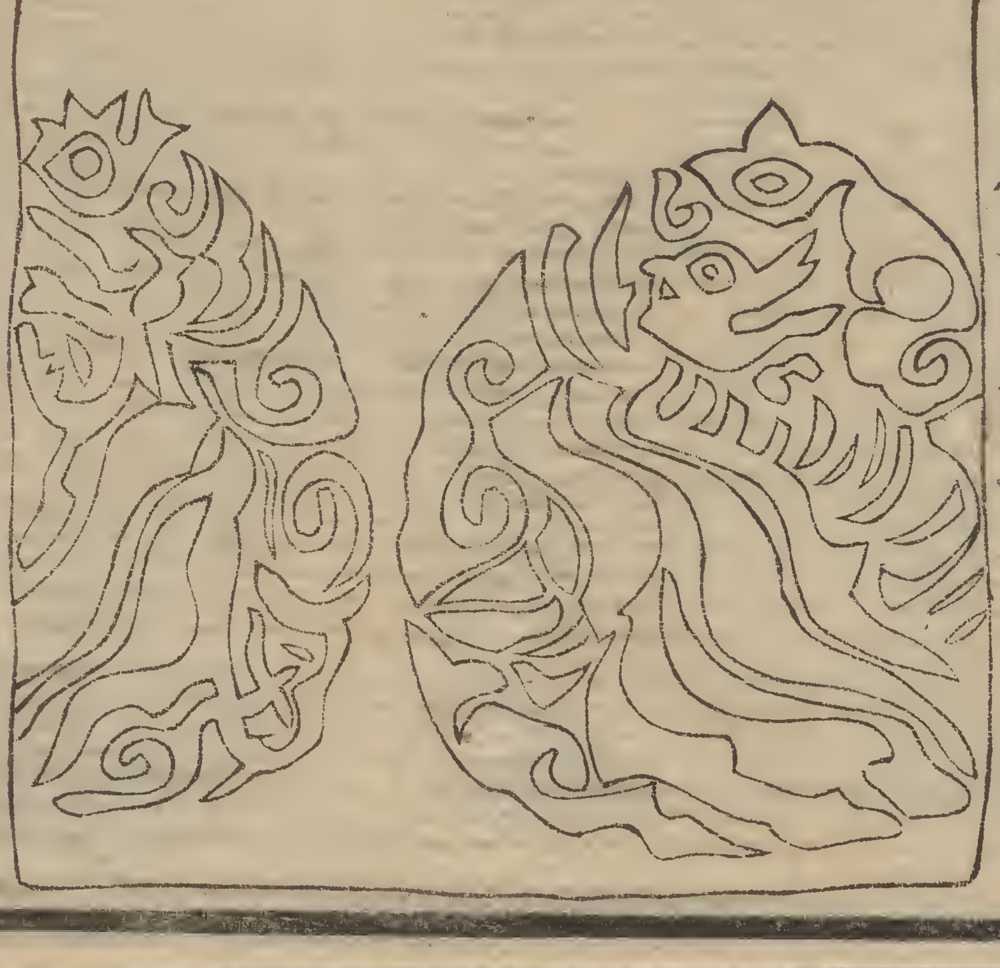


○金襴

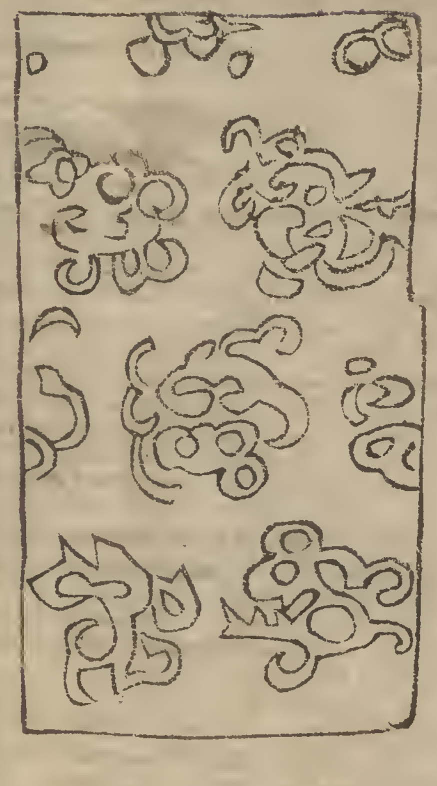
蹈鞴　錦繍一段人ヨリ花紋地金ニて相のと
ゟ縞萬ニて唐草七八分計四方
ゟ三分計の地紋絣和らか成る糸ん地之
金の箔も和らかにて別細く其七の相乱
ニ至るやうなる地紋有角違ひ之金の入子
萬之大サ一寸三分計相乃大なる地ニて
二寸計とミ○名物蔵ニ至るる紙乃
こそ是を名物にも加ハ菜の紋大雲なるもし
○傳云此切ハ東山殿より大内家江遣ハさる
唐へ渡ニ至へられし切之則光蔵院
ち釈迦如来の外張の切なるり
極上代七百年計



真福寺　京ニ地紋地獅子地紋の三色有
地紋金ニて尾長ゟ二羽の丸
大サ七八分計金細し○一説ニ宝
珠の中に宝石し大サ二寸計
極上代五百年余



長樂寺　花紋地金ニて上ゝ星如くに
有又其紋上紋の如くなり
又ゟ三花もあり
上代五百年計



安楽庵

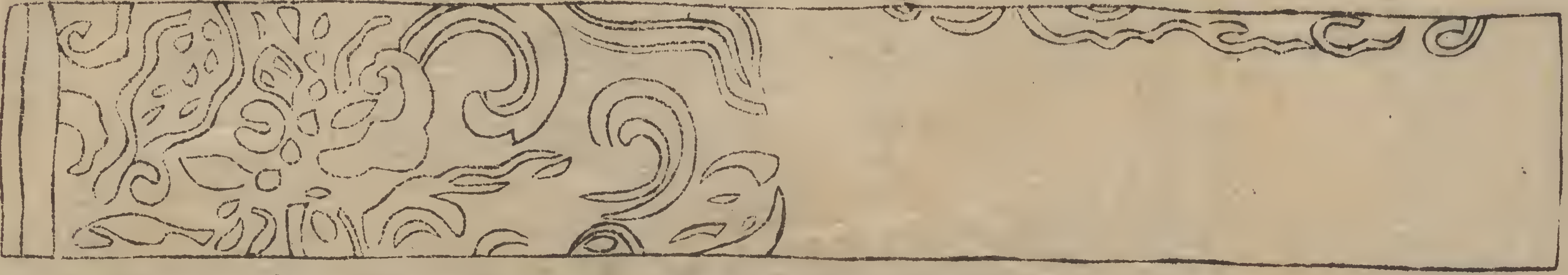
地文ふしぎ有役全て大雲又宝ちらし○文字有ハ時代甚よし
○金地丹地萌黄花文ほふ地にある地組茶服の如しは切外の古金襴と大ニ異之
○蜀江錦の地合金糸の……狐
きり地組あつく二重も織あり……の
ことを安楽庵ともいふ○二つ泊……京
織なり地ふとく……



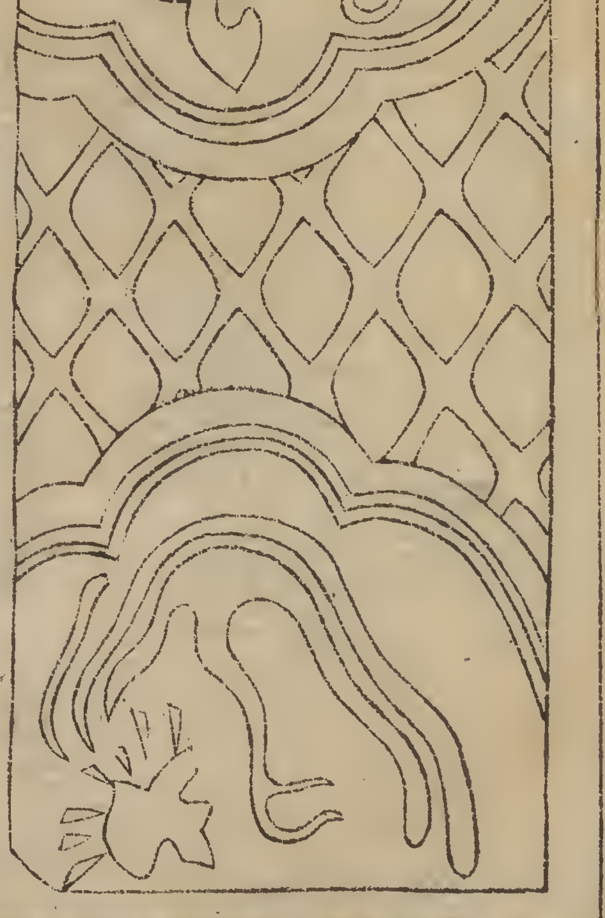
上代六百年斗
時代二百年斗

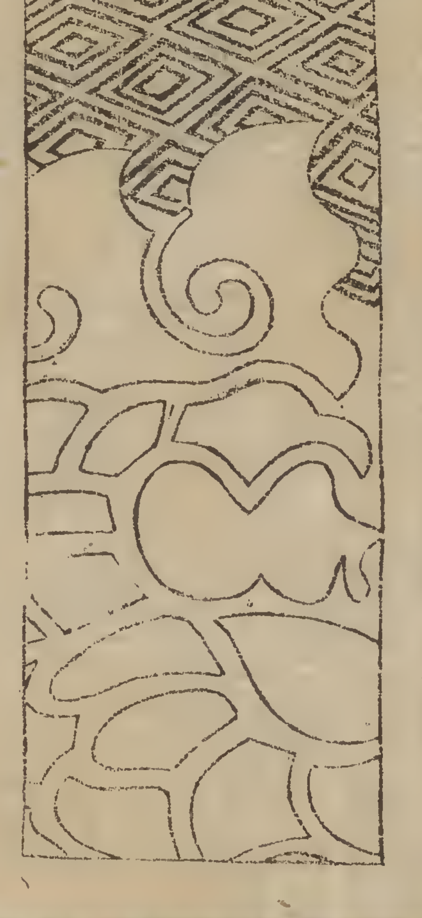


むつきた地

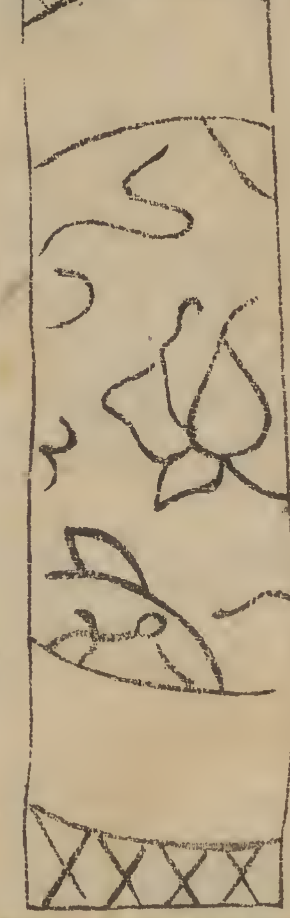


ぎんらん





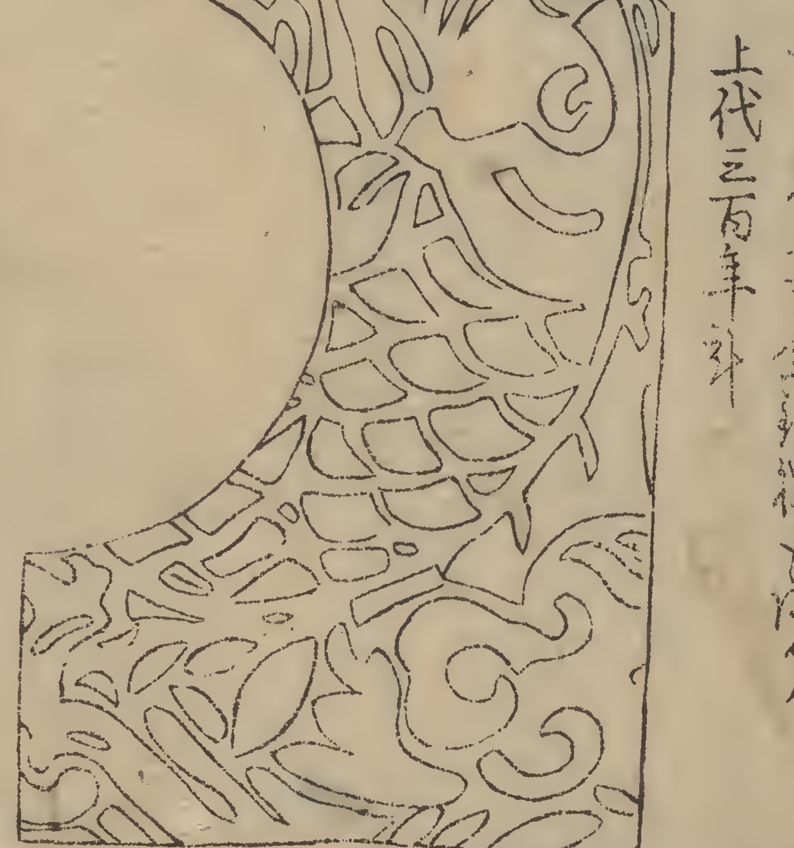
同 大坂蜀錦とも云



上代印金 地色赤こび茶嵐黒こび茶色 もうさんとも云花色のかさ
小さき所ハ又二重牡丹もあり
上代四百年計



荒磯 繻子地浅黄花色紋金ニて浪鯉
大サ一寸余鋲繰もあり
上代三百年計



上柳 地文はもえぎ茶の類花色もあり
文字ありて五つ星大サ二分計九曜大サ
八分ほどある二面不残あり
上代五百年計



鷺頭

此は紺地とある文の中ふかゝる紋金糸を鷺此一房の三寸廿二寸四五分斗位の土の中ふ有○此切者ゟ第一之地文濃紺あり是よりて色とうの文の称く又中られ扇乃文極濃金あるゝ錦合あくよれと中ふみてらん鷺乃文し○又大鷺此切ありけし切之て桐の紅よ茶有りてま金之花三寸斗

極上代五百年余



紹鷺

緞子地屏ヶ様之紋色花あるこて本生月信長公時代よりあるといふ

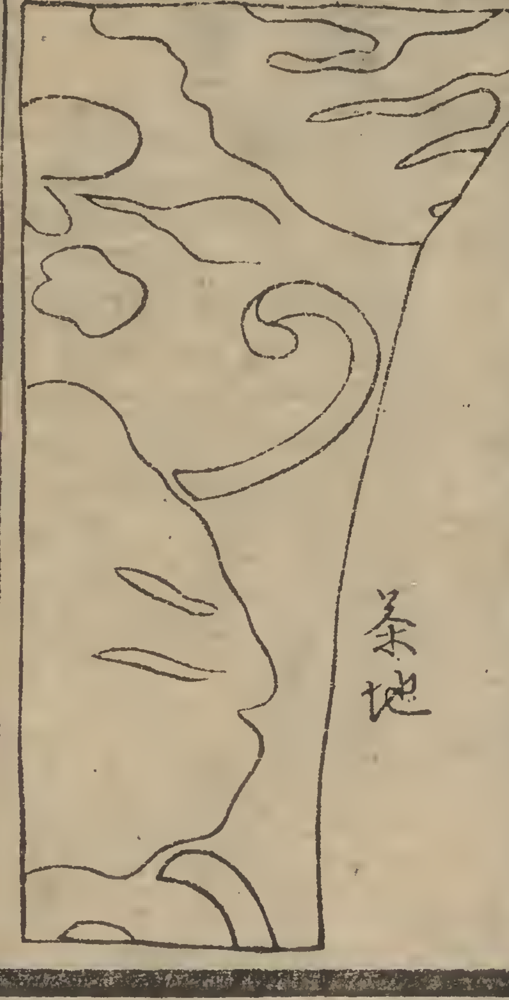


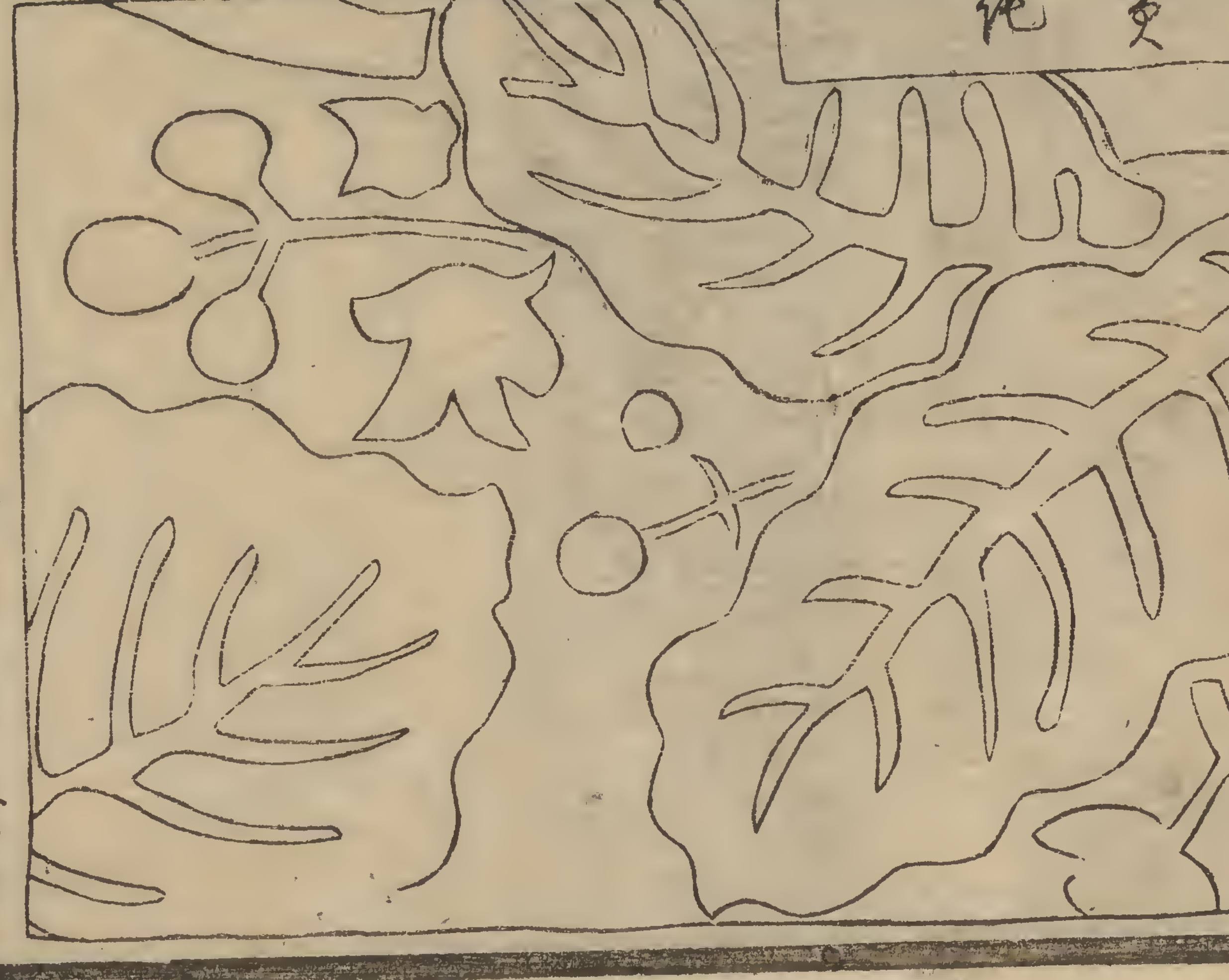
大内桐

緞子金地紫色花文葉形の紋金にて桐とう葉桐の大サ横二三寸斗葉也し 葉ふ枝形く○大内菱紋三寸斗の二重菱の内ニ牡丹と有ら

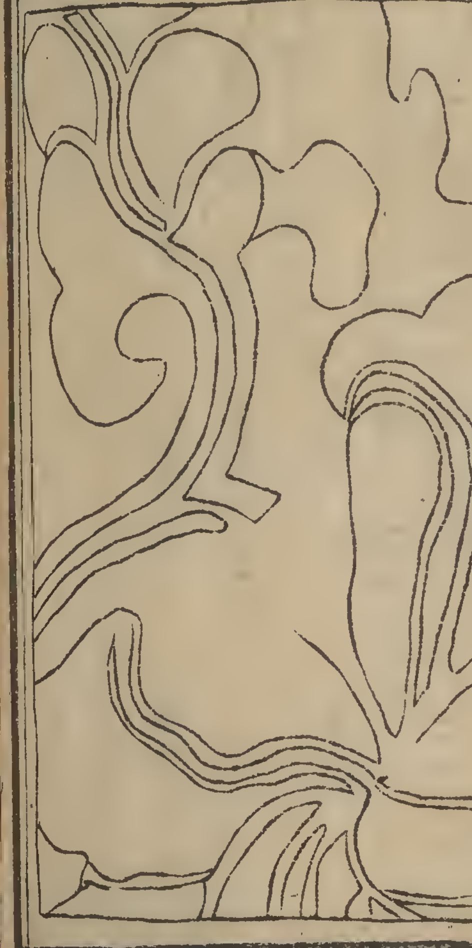
共ニ上代四百年斗



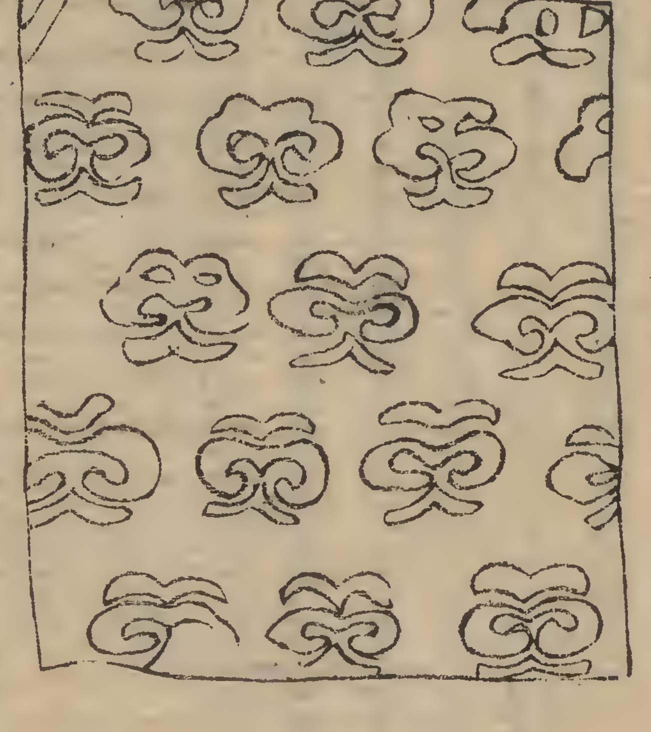




高臺寺 白地古金襴紋大サ八分計
の牡丹からくさ
上代四百年計



大燈 地多赤とび金にて唐花一房ツヽ
又丸地の上ニ細き綾の紋にて
はさみハ枝あるき菊枝く上下ニ爪有
紋五ツ目ニ成る或ハから花の葉もなり
同し切ニ表糸にて地のうら金箔
とおりしやう織らバふ行るもの多
一ト手あり
上代五百年計



逢坂 地合赤とび又花色も有大燈
乃ごとくにて紋長尺も同し
逢坂丸壺の雲霞乃切なり
上代六百年計



安因 地は大燈に同じ金にて一方ツゝ雲
但し大雲小雲と二ツ有。或は雲に
宝づくしもあるもあり同しものにて
金地なるを安金といふ
上代四百年計

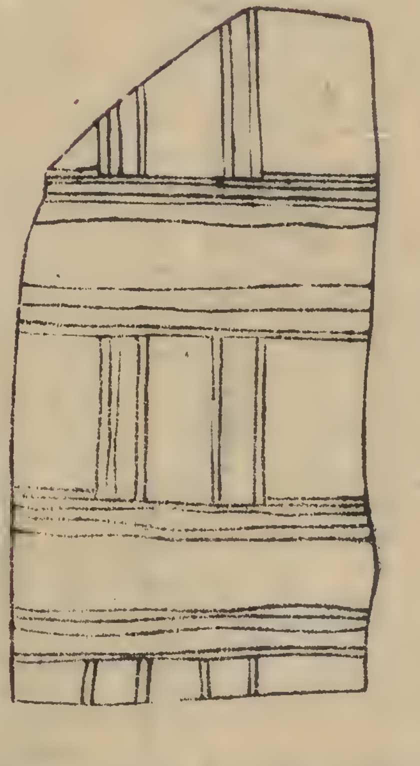


花兎 紫は萌黄花は茶びろうど地有
金にて花兎雲のあるなる地もあり
大小有大サ一寸三分四方之小キ方八分程
なり又是をうつのとうなるもあり地清くて
結構なり小キ方地は和らかなり
時代不同極上代又百年計

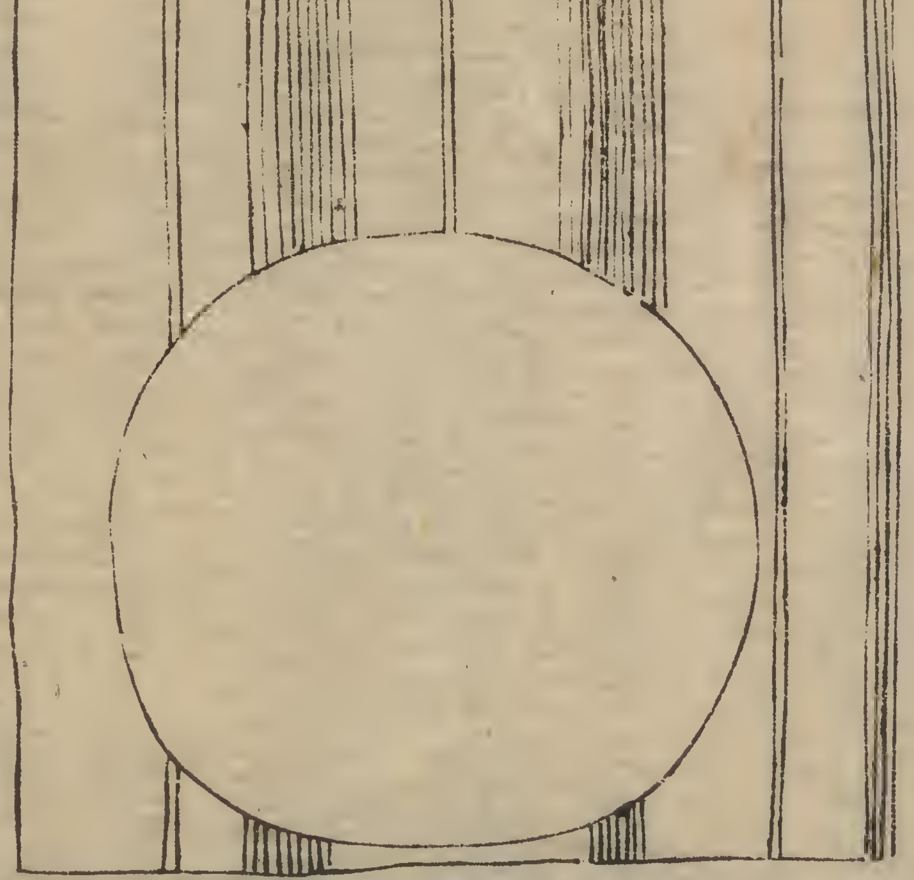


○間道

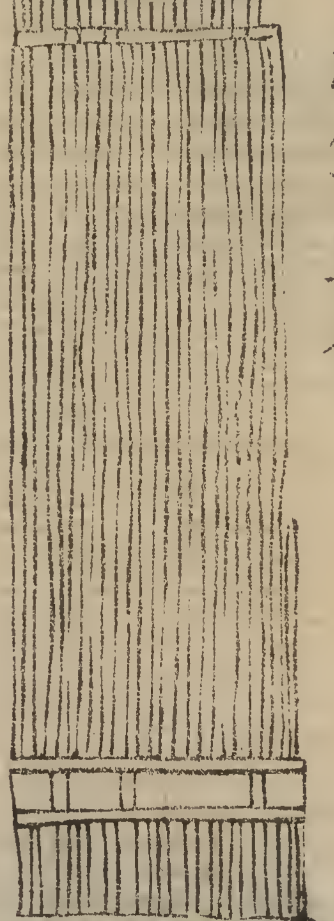
吉野 浅とくさび茶地にて格子
四分ところまのはゞのやうなる
縞はゞ六七分あり
上代三百年余



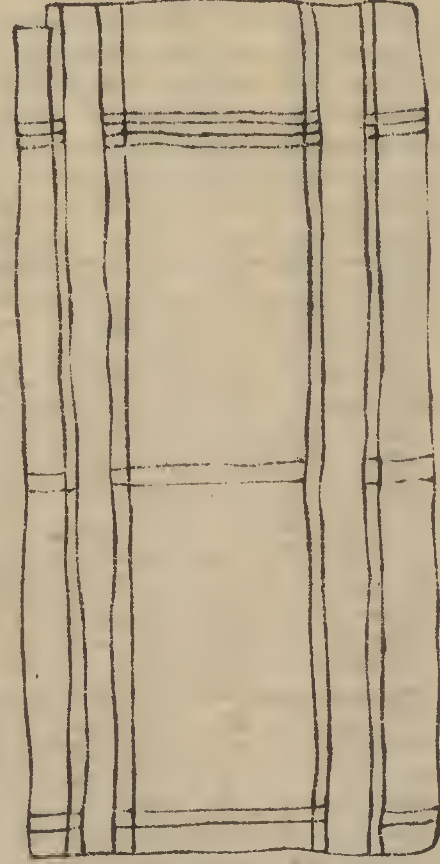
鎌倉 地合は絹ことに縮にてつよくみゆる
鎌倉建長寺にある戸帳の切といふ
極上代七百年計



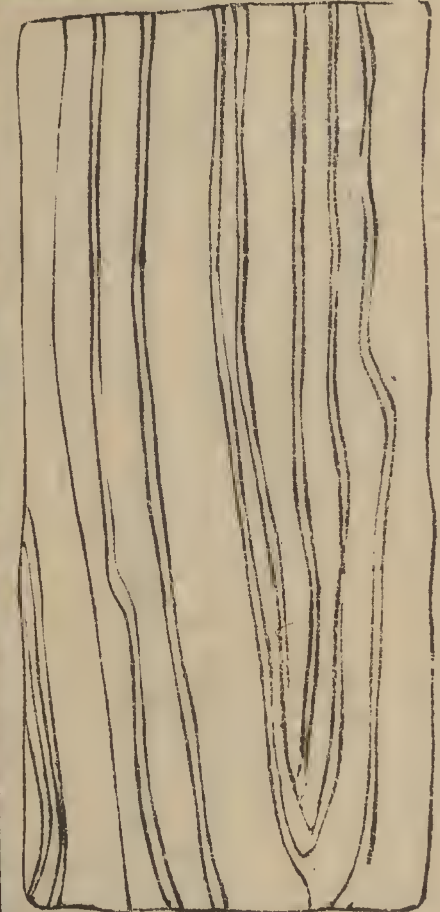
伴緑　花文地よ京御の縞あし有所く
横節のつけ地も有る本丹錢伴
茶きの糸八縞多し吉備門をまし縞く
時代百年余



青木　うけ織なるをとほ云ものより小
松とりよもね組く
上代三百年余



日野　地色てふくやくくふてみえるる
たてハ縞あざやかり
時代二百年余

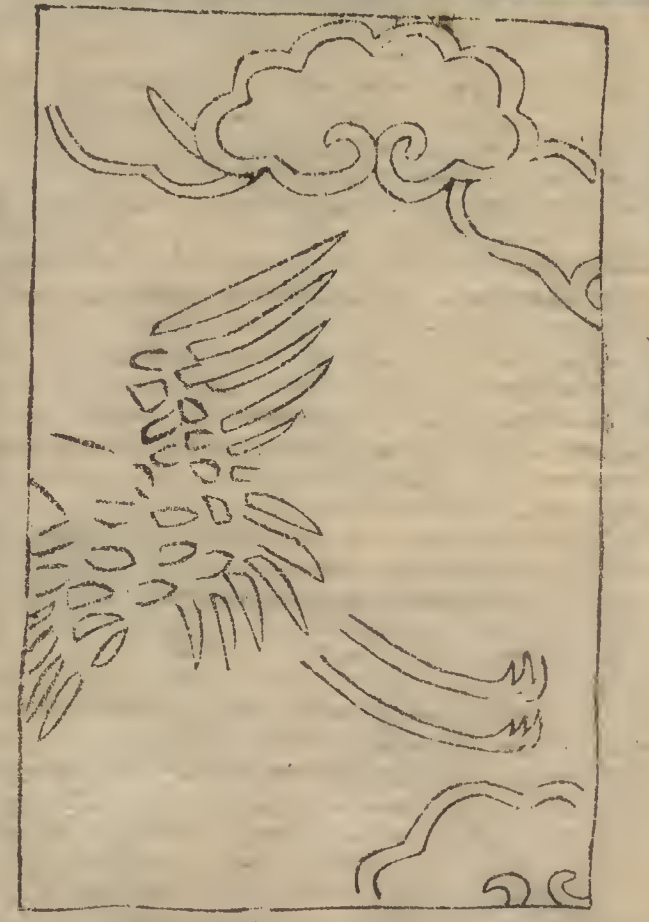


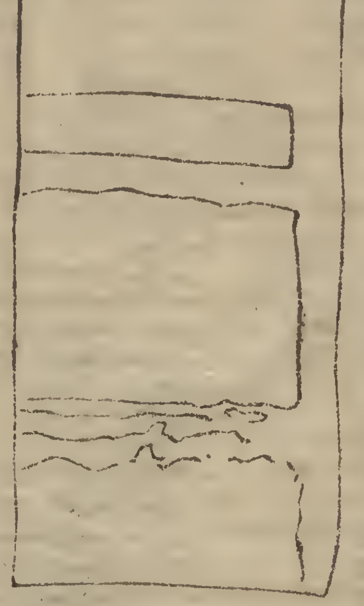
○雑裁

砕金　時代二百年余数不宜

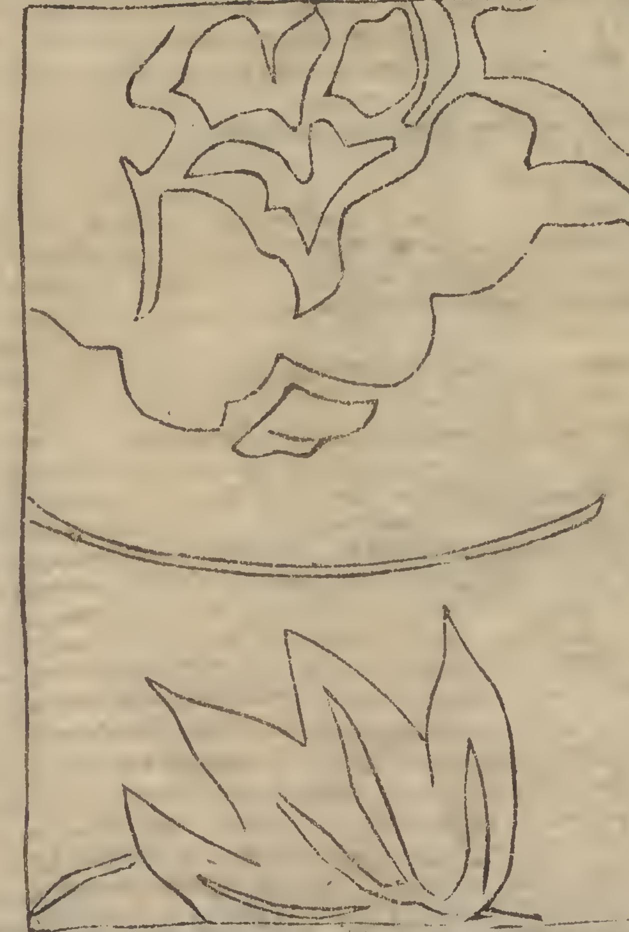


清朱印　地文茶びわ色とび色文紫
を中うる花色のやうくふきとも申う
又二年ハ牡丹何色と云名もあらため
かれれと見ゆるうちでうる載るる
時代四百年斗





ういきく　蔓牡丹ゑし花丈廿一寸四分余
うゐきく但萌黄茶ゟくぢらじ茶ニて
又梅茶緞地後ニ今ハ至て数多し
時代三百年余





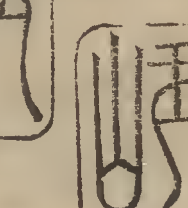
名物裂昌綾

古筆鑑定家印譜

○開祖　古筆了佐

源姓江州西河ノ人平澤氏初弥四郎薙髪メ𢯱材了佐ト号ス和哥ヲ烏丸光廣卿ニ学ブ又近衛龍山公ニ随テ古筆目利傳授シ遂ニ古筆鑑定家トナル秀次公賞メ琴山ノ印ヲ賜フ代々極印コレヲ用ユ寛文二年正月二十八日卒年九十一

札表初書全シ後昏入アリ但シ裏昏裏印ナシ



古筆次郎左衛門

札表書入有裏昏裏印ナシ



古筆三郎右衛門

札表書入アリ裏書裏印ナシ



門人　神田道信

札ノ表書入アリ裏書ナシ

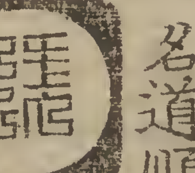


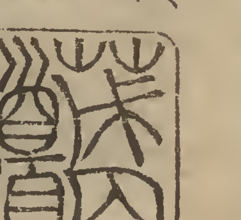




門人　朝倉茂入　名道順

札ノ表書入アリ裏書ナシ

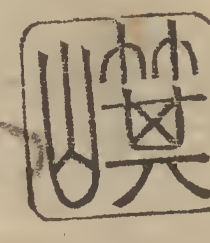




同
嘉右衛門
札ノ表書入初ナシ
後アリ裏書裏印ナシ



同
藤本了因
号古室初名笠原箕山
上去札ノ表書入有裏
印ナシ

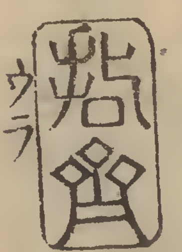


極印二通アリ

ヲモテ

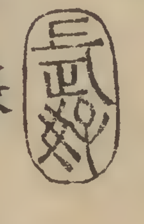


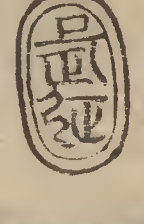
ウラ



同
藤井常智
札ノ表書入アリ
裏書裏印ナシ

表





名長好又長延卜改ム

古筆一村
了佐ノ男勘兵衛ト云
慶安三年壬十月卒

極
不出

古筆了雪
了佐ノ男治右衛門
卜称ス延宝三年壬四
月二卒年六十四



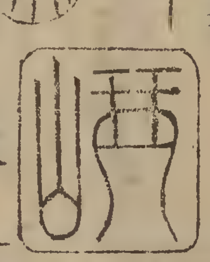
裏印裏書ナシ

二代
古筆了栄
称三郎兵衛
札ノ表ニ書入アリ裏書
アリ裏ニ干支ノ昏付有
延宝六年十月没七十

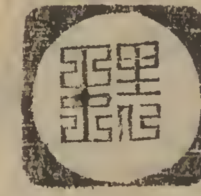
ウラ

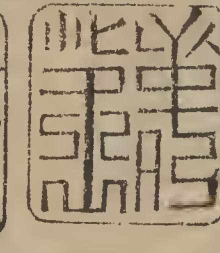


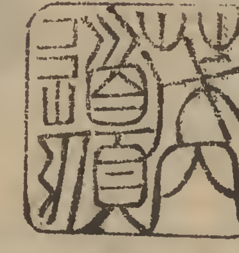
表



門人
朝倉茂入
名景順
裏昏ナシ外題ノ上ニ
青蛇ノ形アリ





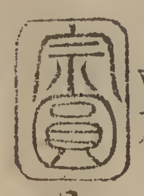


門人
奥西宗圓
札ノ表ニ昏入アリ裏ニ
壷ノ押切アリ又干支ノ
昏付アリ

表



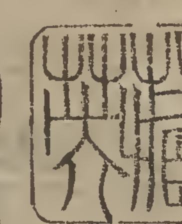
ウラ

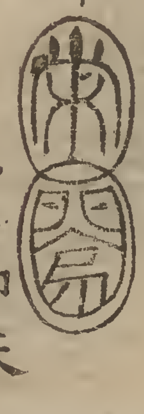


朱

門人
藏田宗英
札ノ表ニ昏入アリ
裏ニ干支ノ昏付アリ

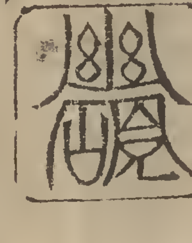
表

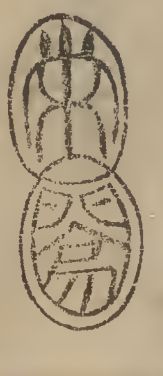




ウラ印朱

門人
末田幽碩
札ノ表ニ昏入アリ
裏ニ干支ノ昏付アリ



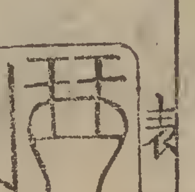


ウラ印

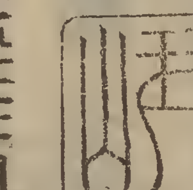
三代 古筆了祐 弥八兵衛
了榮八男
貞享八年四月没四十
札ノ表ニ昬入アリ


表

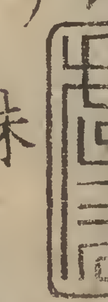
四代 古筆了周
貞享三年五月
早世十七


表

五代 古筆了珉 弥治左衛門
實ハ了雪ノ男了周没後相続元禄古年二月没
札ノ表昬入アリ裏ニ干支ノ昬付アリ

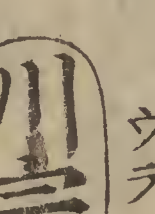

表


ウラ


朱

門人 川勝宗久
札ノ表昬入アリ
裏書アリ

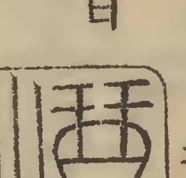

表


ウラ

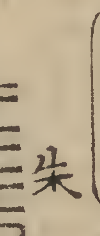

朱
朱
此印年々改

僧九峯 名日拙
了珉ノ男洛西木辻西王寺ニ住ス

六代 古筆了音
札ノ表昬入アリ裏ニ干支ノ昬付アリ
享保十年六月没五十


表


ウラ


朱

門人 淺井不舊 号時習軒



門人 二代目 川勝宗久

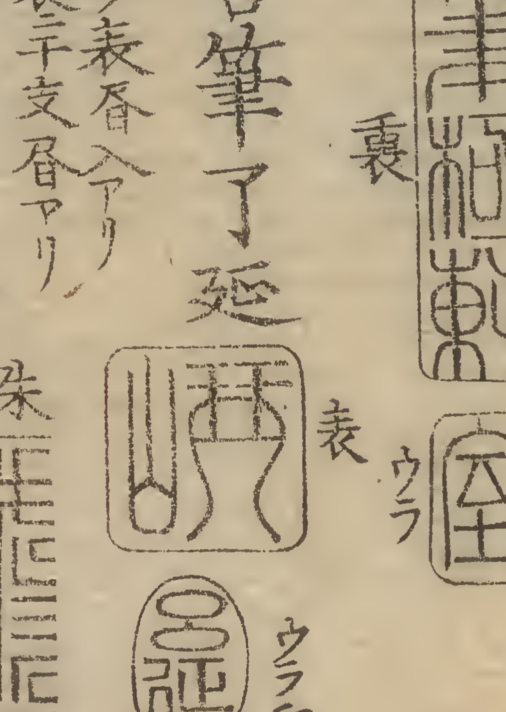

表

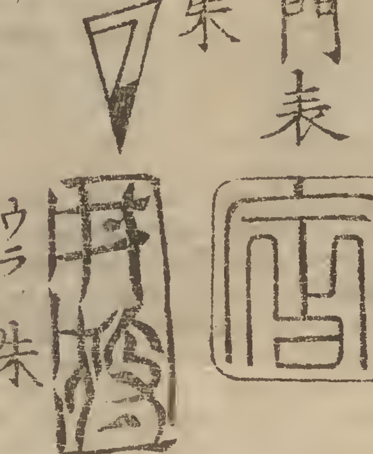

ウラ

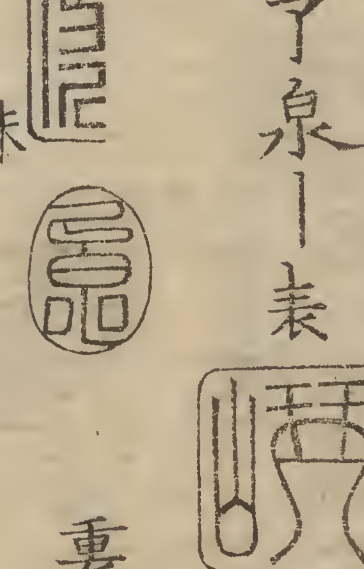
門人 木村見室
札ノ表昬入アリ
裏印有極印
二通用ユ

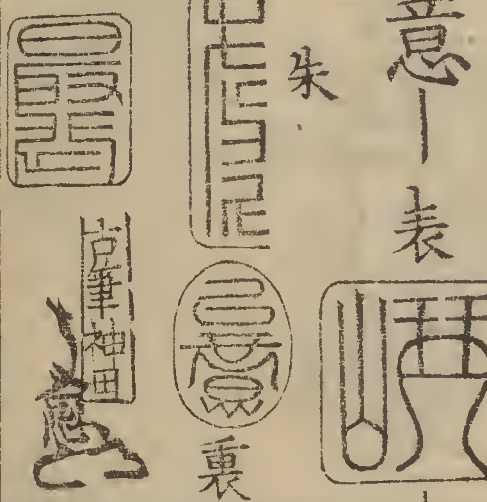

表

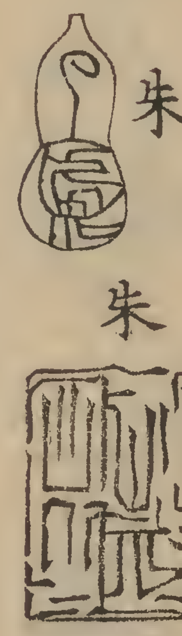

朱 表

七代 古筆了延
札ノ表昏入アリ
裏二千支昏アリ
表 朱 表 ウラ ウラ印


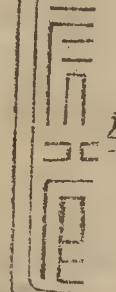
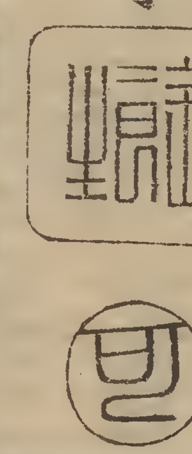
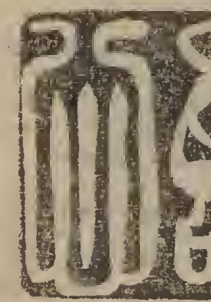
門人 井狩源右衛門 表
享保中ノ人
朱 ウラ 朱


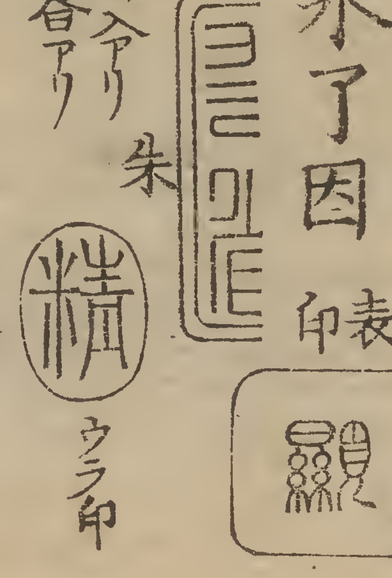
八代 古筆了泉一 表
札ノ表昏入アリ
裏二千支昏アリ
朱 裏


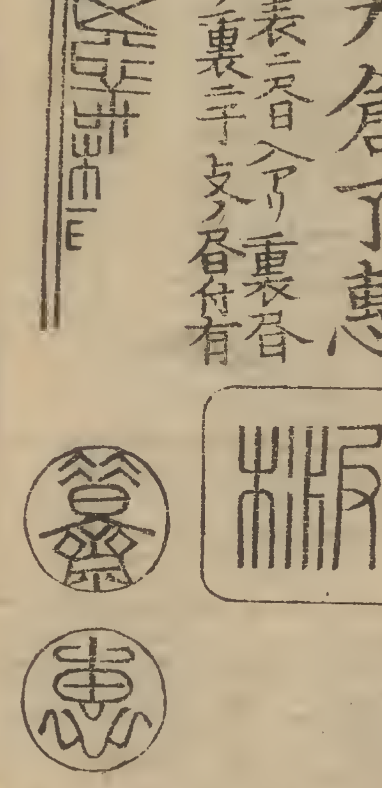
九代 古筆了意一 表
札表昏入アリ
裏干支昏アリ
天保五午五月
没八十四 朱
朱 裏


門人 恒川了呂 尾州住
朱 朱


同 長井半弥

同 小林了可
オモテ ウラ
朱




同 清水了因
札ノ表昏入アリ
裏二千支昏アリ
裏印 朱 表印 ウラ印


同 大倉了恵
札表ニ昏入アリ裏昏
アリ裏ニ干支ノ昏付有
後汲水ト改


十代 古筆了伴

表ノ札昏入アリ
裏ニ干支昏アリ
東都小川三枚橋詰住
皇都小川三条下ル居

朱

ウラ印

門人 二代 大倉好齋

汲水男

父ノ関防ノ印ヲ用ユ
札ノ表昏入アリ裏昏アリ裏ニ干支ノ昏アリ
平安釜座押小路南住

朱

ウラ印

同 二代 小林了安

了可男

父ノ関防ノ印ヲ用ユ
札表昏入アリ
裏ニ干支昏アリ

朱

ウラ印

平安一条新町東ニ住

同 建部了幽

札表昏入アリ 副
裏ニ干支昏アリ

ウラ印

副 箇

朱

古筆了材

○初代 神田道信

印章出所

神田道伴

札表昏入アリ
裏ニ干支昏アリ

ウラ

朱

表

神田道信

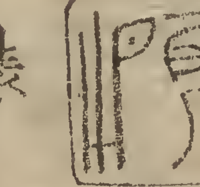
札表昏入アリ
裏昏ナシ

神田半之烝

師家相続了意ト改

古筆了任

札ノ表昏入アリ
裏昏ナレ



表



ツラ

古筆了仲

札ノ表昏入アリ裏
昏ナレ元文元年二卒

古筆了仲



了仲以後代々極不出

折紙用



古筆了観

了伴二男
分家相続

古筆了観

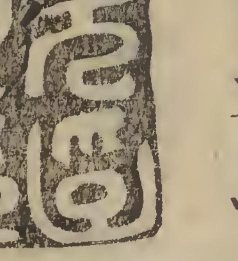


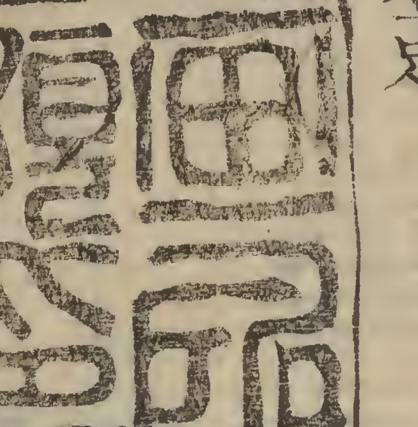
△新書鑑定

○土佐光孚

平安寺町丸太町南住

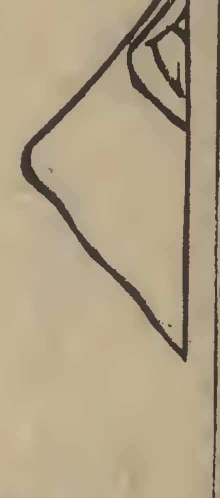
折紙
白字



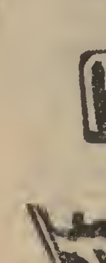


折帋朱字

朱字



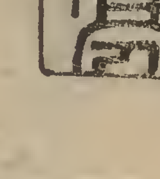
平安東洞院四条北住
松村景文





朱

平安東山双林寺内住
西阿弥月峯

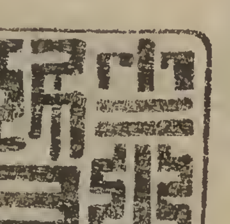


△別系

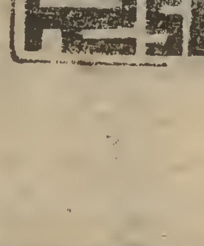
○大徳寺真珠庵宗賢

号普岩

札ノ表昏入アリ裏昏裏印ナレ



表



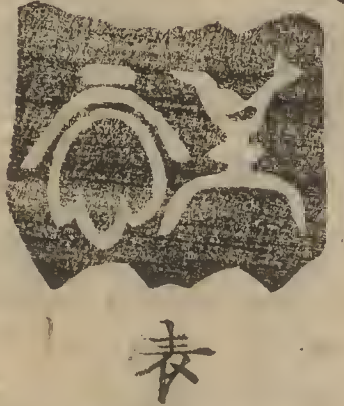
折紙朱

同 宗玄

号三級

二僧一休和尚ノ法孫

札ノ表昏アリ
裏昏裏印ナレ

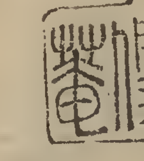


表

○五十三

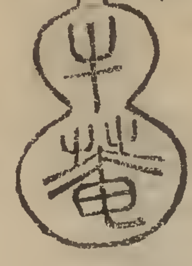
△嗣承未考部

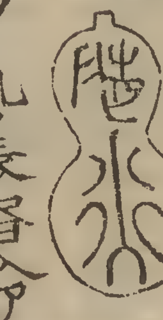
畠山牛庵
札ノ表ニ名アリ裏名裏印ナシ

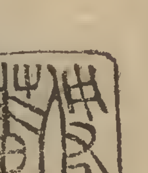


二代目 同 牛庵

朱



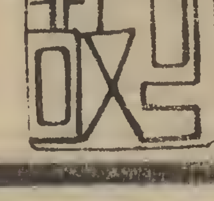




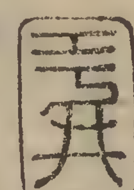
札ノ表名入アリ裏名裏印ナシ

梅原休甫

日永可敬
称吉十郎 札ノ表名入アリ ウラ名ウラ印ナシ



了音家来
平井藤兵衛
札ノ表名入アリ裏名裏ナシ



櫻木勘十郎
札ノ裏ニ印アリ不分明

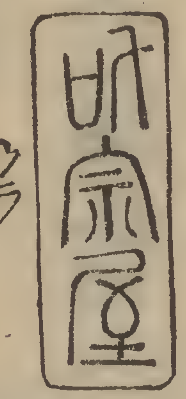


表印

平兵衛
札ノ表名入アリ裏名ナシ

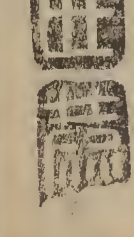


表



ウラ

江世恭
俗称富入



數寄道具定直段附

樂吉左衛門

茶碗

銀二両 赤樂茶碗
銀五両 同
三拾匁 同
三拾匁 同 黒 円形
銀三両 同
拾五匁 黒樂茶碗
銀五両 赤茶碗 如心斎好
三拾匁 玉の繪 覚々斎好 黒天目

香合

銀四両 獅子 青
銀三両 布袋 赤
銀三両 達摩 赤
銀四両 同 黒
銀二両 すゞめ 赤
銀四両 同 黒
銀五両 同 黒
同五両 同のふくら形 赤
銀二両 うさぎ 白
銀三両 同平 赤
銀二両 たぬき 絵
銀三両 伯藏主 赤 金溜

二十五匁 蛤菊置上

円一両 ふくと 赤

円四両 かうち写亀 白

円三両 鶴 赤 宗乾好

円二両 からすの子 銘 宗全好

円四両 くずや 赤 宗旦好

円三両 鯉 赤 覚々斎好

円三両 亀小の子 銘 かうち写

銀五両 同九

円五両 横獅子 赤 同黒 二十五匁

円五両 砂金袋 黒 金溜

円二両 舟引 赤 如心斎好

円四両 木魚 赤 如心斎好

円二両 地紙箱 赤 如心斎好

円五両 犬の子 赤 覚々斎好

円三両 すゞめ 白 かうち写

蓋置

銀二両 一閑人 赤

円五両 同 黄 覚々斎好

円三両 さゞい 赤

円四両 同 黒 金溜

円六匁 同はくろ 青赤

円三両 同青磁写 青

円三両 わや 赤

円二両 夜學 赤

円三匁 輪 赤

円六匁 三つ葉 青赤

円三両 同 黒 金溜

円二両 印 赤

三拾匁 蟹 薄赤

円五両 三人唐子 赤

円二両 五徳 黒

水指

三拾匁 芋頭 銘

円 矢筈口 黄

円 不識 銘

円 舟引 赤 常叟好

二拾五匁 九 銘

銀一枚 福神 赤

三十匁 ふちあし 円 如心斎好

円 縄簾 銘

円 鐘楼 銘

円 火桶形 赤

六拾匁 黒筒 覚々斎好

銀一枚 まめくひ 白

三十匁 竹のふし 赤 覚々斎好

円 ぶりく形 円

右いつも塗蓋ハ直段の外なり

水こぼし

銀四両 大脇指 白

円 指替 銘

銀四両 捧乃さき 銘 赤
円 瓢箪 銘

円 亀のふた 銘
円 ゑふご 赤

置花入

二拾五匁 樋の口 赤
三十匁 立鼓 白
三十匁 かうしロ 赤
同 經筒 銘
五十匁 同 拍彫物 金入

銀一両 旅枕 白
三十匁 きぬた 青
三十匁 大角豆耳 白 覚々斎好
卆匁 切溜 青 金入 覚々斎好
銀五両 鶴首 赤

懸花入

十五匁 高麗筒 銘
銀四両 飴粽 赤
円四両 矢筈口 赤
十五匁 小高麗筒 銘 赤 覚々斎好
銀五両 釣舟 黄 宗全好

円 牛の角 赤
銀五両 みのむし 赤
円五両 老鶴 赤
銀五両 もみぢおとし 白
円二枚 纏簾 銘

杓立

十五匁 鳶口 赤
三十匁 同 黒

茶入

二十五匁 同 筋 金入 青 覚々斎好
銀五両 梅鉢すりこし 赤

香爐

三十五匁 蔓附 黒 木地蓋共 仙叟好
円 白雲 黒 如心斎好

火入

銀五枚 金獅子 宗全好
銀三枚 同 赤
円三枚 布袋 赤
五十匁 平獅子 白

百五十匁 向獅子 如心斎好
円三枚 馬
円一枚 うさぎ 白

銀五両 鐘楼 銘
銀二両 駒之爪 赤
十五匁 累坐 青 如心斎好

二十五匁 三ツ足 白 元々斎好
十匁 同 青
十匁 筒立 青 如心斎好

銀二両 同 青 同好
代三両 乳足 赤
代二両 同 不見斎好

代五両 黒金湡 又玄斎好
代三両 同 白 啐啄斎好
代五両 青磁写

皿 五ツ付

六十匁 大菊 赤
代一枚 同筒立 青
三十匁 同 白
三十匁 百合 赤
六十匁 口乱 青 業虔卯
三十匁 えまり 白 覚々斎好
三十五匁 柏 黄 宗全好
六十匁 手付 青 内菊𧘕 覚々斎好
六十匁 升皿 青
三十匁 鱗菱 青 如心斎好

銀一枚 同中 赤
二十五匁 柚味噌皿 赤
三十五匁 同唐草 赤
三十五匁 同大之方
六十匁 木瓜 赤 牡丹彫物
六十匁 かぶと 青 節金入 宗旦好
三十匁 舟 白 覚々斎好
三十匁 いとゝ貝 赤 宗旦好
五十匁 同 赤
三十匁 分銅形 赤

二十匁 貝盞 赤 箱入 如心斎好
三十五匁 三ツ葉 黄

猪口 五ツ付

銀一枚 菊硯 白
銀一枚 大菊
三十匁 黒筒立
三十匁 腰高 赤 又玄斎好

二十匁 塩器 白
代一枚 縁六角 梅鉢
五十匁 赤大小 十二月 又玄斎好
二十匁 四角 赤

雑品

銀三両 水滴類 赤
代四両 片口 青
三十匁 同菜かゝり
銀一枚 同菜かゝり
六匁 同炮烙
代一両 爐炮烙
代一枚 同焼貫

代五両 灰杓子 赤 長次郎写
代三両 爐平田
三十匁 同 仙叟好
代五両 風呂平田
銀二両 同のんこう形
代二両 同のんこう形
代三両 茶巾筒 團子摸様

銀四両 盃臺 青

代一両 引手 赤 覚々斎好

三十匁 うさぎ屏風挾 白 如心斎好

八匁 油附

十匁 ほうろく 白 如心斎好

三十五匁 同 青 覚々斎好

代八両 菊燈臺 黄 宗全好

銀五枚 めんこ火鉢 舟引の絵

七十五匁 三ツ具足 青 覚々斎好

一匁 同 覚、斎好

銀五両 鉢 白 六角梅鉢の絵

三十匁 茄子振出 黒 金溜

銀三両 重香合 下皿 青 金入

代五両 同織部風 青

代一枚 於ゝ名屏風挾 金溜 如心斎好

銀一枚 屏風挾 青 金入

銀二両 結ふく水入 白

銀四両 火燈 青 如心斎好

六十匁 大菊燈臺 青 金入

三十八匁 飯 同 覚々斎好

七分 手あぶり 青 又玄斎好

前土器

六十匁 織部写瓦小板 青

代一枚 手附菓子入 金溜菊重

金五両 鬼瓦 飯 覚、斎好

如心斎好

釜師清右衛門

銀一枚外箱五匁 尻張釜 大中小 唐金蓋添 利休好

代一枚 土斎釜 右同断

銀一枚外箱五匁 針屋釜 右同断

代一枚 阿弥陀堂釜 中小 右同断

代一枚 四方釜 但真鍮環 銀一両 右同断

代一枚外箱五匁 四方口釜 宗旦好 鉄蓋添

五十匁 霰巴釜 入 水庵好 鉄蓋添箱

五十匁 大黒釜 唐金蓋箱入 紹鴎好

五十匁 万字釜 中尾形 右同断

五十匁 同茨木屋形 右同断

五十匁 霰九釜 右同断

代一枚 九釜 大中小 右同断

同一枚 蒲團釜 右同断

廿十匁 万代屋釜 大中小箱入 右同断

代一枚 國師釜 右同断

代一枚 鶴首 右同断

代二両 同鐵釣

代一枚 百佗釜 唐金蓋添 覚々斎好

五十匁 大講堂 鉄蓋箱入

五十匁 大阿弥陀堂釜 唐金蓋箱入 天明写

廿匁 万字大徳寺形 唐金蓋箱入

五十匁 小霰釜 紹鴎好 右同断

五十匁 霰百會釜 右同断

六十五匁 累坐釜 宗旦好 右同
五十五匁 小阿弥堂釜 原叟好 右同
銀一枚 日の丸、外箱五匁 右同
五十匁 福菴、右同
銀一枚 累坐富士 外箱五匁 如心斎好 右同
同一枚 唐犬、天明写 右同
銀一枚 責紐、右同
五十匁 達摩堂、右同
三十五匁 同 中小 右同
七十五匁 鉄琉球風炉 風呂箱代八匁五卜 田口釜箱代五匁
銀一枚 鉄棗風炉
二百五十匁 唐金鳳皇風炉
銀一枚 鉄丸釜風炉 外箱八匁五卜

四十五匁 乙御前 天明好 右同
百目 八卦 芦屋写 右同
百五十匁 霰四角 芦屋写 右同
五十匁 龍宝山 右同
同一枚 裏会、唐金盖添 外箱五匁
百目 夕顔、仙叟好 右同
三十八匁 東陽防、右同
三十八匁 大雲龍、環代三匁五分 同外真鍮
銀四枚 琉球風炉 羽口金庋全 盖添 箱入
銀一枚 鉄鬼風炉
外鉄環 環代五匁 真鍮環代銀三両 箱代八匁五卜
銀三両 鉄ちろり
銀一枚 鉄燈籠 千形
銀一枚 鉄尻張風炉 外箱八匁五分

十五匁 爐五徳 外箱代四匁 利休形 仙叟形
七匁五分 風炉五徳 利休形
十匁 同法連
十五匁 同間鍋入 鉄盖添箱
十五匁 丸間鍋 同印 利休形

銀四両 同法連 箱代四匁
十匁 同薩摩 中形
銀四両 塗盖添箱入 糸目汁次鍋 利休形
銀四両 塗盖添箱入 四方間鍋 利休形
夌斗 箱代三匁 雲龍風呂五徳 大小

指物師利斎

銀五枚 桑卓子
四一枚 利休形四方棚
三十五匁 丸卓
三十五匁 江岑棚
銀一枚 旅箪笥
三十五匁 仙叟好刀掛
十匁 小座敷刀掛
百五十目 桑机

四二枚 竹卓子
百三十目 袋棚
七十五匁 桑小卓
百目 桑三重棚 天然好
七十匁 利休桑刀掛
三十三匁 糸巻形刀掛 原叟好
銀五両 竹釣刀掛
二百八十目 桑衣桁

二十五匁 又桑腸息
三十五匁 又桑炭取
一匁 火吹竹
一匁二卜 透木 炉 風呂
十五匁 桑撞木
五十五匁 又桑烟草盆 原叟好
銀五両 はちおゝ烟艸盆 宗室好
五十五匁 菊の繪文庫
十六匁 茶上戸
五匁 挽木箱
銀二両 薬恭上戸
銀一枚 利休形板風呂
同二両 縁覆
同五両 仙叟好六角縁高

五十匁 桑見臺
一匁五卜 釜敷板
二匁 炭切形
二匁五卜 釜居
銀一両 竹花切溜
二十五匁
同 宗乾好
銀三両 角丸烟艸盆 仙叟好
一匁二卜 茶半入箱
七匁五卜 茶はき箱
十三匁 壷口切箱
五匁 ちりとり
同三両 爐縁
同二両 爐盖
二十五匁 菊の繪硯蓋

銀二枚 膳與三重二組
二十五匁 桐木地長板
三十匁 木燈籠
銀五両 八角燈籠
銀三両 木燈臺
八匁 結燈臺
十五匁 突止竹木
三十五匁 葭二枚屏風
五十匁 桐風呂前屏風
五匁 花切小刀
十八匁 水さひ手桶
三十匁 路次下駄 六足入
十八匁 片口 中小
三匁 水こぼし

二十五匁 同三重
十五匁 爐長板
五十匁 宗玄好桑爐長板
十五匁 座敷行燈
同三両 竹簾
銀一両 竹掛燈臺
百二十匁 葭六枚屏風一双
銀五枚 桑風呂前屏風
三十八匁 長さぎ風呂前屏風
銀一両 さげさや竹
十匁 手濯桶
銀五両 片口 大
十六匁 曲水指
六匁 茶巾洗

六匁 水きひろげ水こし
七匁 炭臺
三十五匁 炭切溜
銀二両 杉縁高
三匁 杉丸盆
三匁五分 物桶
三匁 同柄杓

七匁 花臺
五十匁 花切溜
三十匁 湯桶
二十五匁 同菊繪
三匁 木地八寸
銀二両 手水鉢水こし
二両 小座敷二重棚

同一両 同一重棚
同十五匁 利休形茶桶箱
同十五匁 花盖茶桶利休形
同七匁五分 同挽溜茶桶箱
同五両 釣瓶水指

同三十匁 仙叟好釘箱棚
同五両 同三ツ入
同十五匁 原叟好茶桶箱
同十五匁 サン盖茶桶箱
同 大茶箱 小 銀四両

中川浄益

十匁 風呂底取
十匁 同鉄張長火箸

十七匁 真鍮角鳴頭火箸
十三匁 同灰押 大
十七匁 はや盖置
同三両 三人唐子盖置
十五匁 さゞい盖置
銀一枚 くさり 釜釣鎖
七匁五分 真鍮ひる口環
二十五匁 雲龍釜釣
七匁五分 鎌弦
三十五匁 柄杓建
銀一枚 菜灌
十匁 飯杓子
三匁五分 ひる鍵
三匁 襖引手

三匁五分 桑柄小火箸
三匁五分 同 小
銀二両 五徳盖置
十匁 蟹盖置
三十匁 仙叟好木次
二十三匁 花生釣鎖
七匁五分 鉄釜釣環
五匁五分 雲龍真鍮環
二十三匁 原叟好水次
三十匁 水おとし
二十五匁 銀茶杓 茶はき箱ニ用
十匁 真鍮湯のまへひ
一匁 花生折釘
三匁五分 つまミ 袋棚撮

四匁五分 附書院 ｜手
三十匁 真鍮茶巾洗
百匁 燭臺 三ツ足ちん切 ちん臺とも
十匁五分 花切小刀
十三匁 硯小刀 筆錐
五匁 又 桑柄炉火箸

塗師宗哲

百四十目 芳野椀 五人前
百十匁 小之方 同
九十匁 小之方 同
百匁 上り子椀 同
百匁 碁笥椀 同
百匁 うるみ朱輪廣椀
百目 朱丸椀 同
百三十匁 精進椀 同
三十匁 互之子 木ニテ作 吸口ノ貝 同
百二十目 朱精進椀折敷 同
百二十目 大一文字椀 同
百二十目 大丸椀 同
九十匁 坪平 各此坪平ニ用
百目 反り坪平 同
百十匁 朱輪廣椀 同
但しいと底せまし 菓子椀ハひらし
五十匁 同坪平 同
四十目 ちやつ 木皿也 同
五十匁 朱平皿 同
百三十五匁 面桶椀 六ツ入子 同

九十匁 黒木角切折敷 同
百目 朱折敷 同
百目 うるみ折敷 同 仙叟好
七十五匁 曲折敷 同
二十五匁 湯次 杓子共 同
八匁六ト 通盃 一枚
二十匁 盃 五枚
六匁 大盃 一枚
五十五匁 底朱菓子椀 五組 常叟好
五十八匁 同朱糸目 同
五十八匁 同夕顔 原叟好 同
五十三匁 同うるみ 同 好 同
百三十五匁 同坪平 同 好 同
三十五匁 同湯次 同 好 同
八十匁 溜鋲目折敷 同
九十五匁 黒木かんなめ折敷 仙叟好
六十匁 かつき蓋絵ち折敷 仙叟好
二十五匁 飯次 杓子共 同
二十三匁五分 酒次
八匁六分 同溜りん合すゞ 一枚
十七匁五分 朱杯臺 仙叟好
五十八匁 朱菓子椀 五組
五十三匁 黒吸物椀 仙叟好 同
五十六匁 同葎 原叟好 同
五十八匁 同喰初おつぼ 同 好
百二十五匁 崔亀松竹画 同
同絅の椀 同 好 同
三十五匁 同飯次 同 好 同
九匁五分 朱湯の子救

一 二九

八匁六分 同黒
百六十目 䋄の繪大平盃 五人前 箱入
八十六匁 同二重箱 一組 箱入
百三十五匁 二枚足折敷 十枚 原叟好
六十目 かき合餘臺 〃
百目 山崎盃 〃
七十五匁 朱手附飯次杓子共
六十一匁 汁次鍋
四十三匁 同挽物木地
七十匁 同溜塗 〃
五十五匁 菓子椀臺 一枚
七十五匁 短檠 油次共
三十五匁 同休叟好
三十三匁 八角菓子盃 一枚

十二匁九分 肴入塗片器 一組
百目 同大食籠 一組 箱入
十枚箱入 朱菓子盃
五十匁 朱丸吸物膳 五人前 常叟好
六十匁 山かゝき 〃
四十三匁 三重菽盃 一組
六十五匁 黒塗同
三十八匁 塗間鍋
七十五匁 黒塗縁高 五ツ
八十六匁 高盃 〃
三十三匁 溜湯盃 仙叟好 〃
三十五匁 手燭 一本
四十八匁 路次行燈

三十匁五分 大束〃
二十一匁五分 白粉とき束〃
〃 鷲同
〃 碁笥束〃
〃 藥罐 同
十七匁三分 中束〃 十五匁 小束
三十目 菊大束〃
〃 はゞかし 同 如心斎好
二十五匁 桐中束〃
二十五匁 盛アミ大束〃
二十五匁 宗旦溜松木中束〃
二十八匁 紹鴎小束〃
三十八匁 紹鴎大束〃
三十八匁 菊桐大雪吹 覺々斎好

二十一匁五分 下張束〃
〃 原叟好同
〃 茶合同
〃 香次同
〃 仙叟好菓罷
十五匁 一服入同
三十目 菊桐束〃
三十三匁 紹鴎好中束〃
二十五匁 利休好菊中束〃
二十一匁五分 菓罷黒
二十五匁 面中次 溜黒共
二十八匁 仙叟大束〃
二十八匁 利休雪吹大
七十目 挽溜大茶桶 對

廿目 茶飾
六十匁 丸折蓋烟草盆 覚々斎好
三十三匁 溜塗烟草盆 泰叟好
七十五匁 同鉄物有 右同
六十匁 同黒塗鯨手 天然好
七十五匁 同爪紅 天然好
百六十匁 碁笥挽 宗室好 五人前
二十八匁 同利休堂写
三百目 同爐臺子 同
三百五十匁 爪紅臺子 同
百二十匁 風呂長板 一枚
七十匁 真塗大板 同
廿一匁五分 小板 大小共 同
七十五匁 真塗大口

四百三十目 茶歌舞伎道具 但し小棗十ヶ 札箱 長盆一枚 紐ふくさ 掛板
右ハ袋ニ入折居外ニ
添 金二歩 花月札 折居共
金二歩 塗茶杓 一本 假筒ニ入
百十九匁 糸目挽 天然好 五人前 [illegible]
八十六匁 真塗爪縁 覆とも
三百三十五匁 四本柱風呂臺子 一錺
三百三十目 同及臺子 同 二本柱
二百三十五匁 紹鴎棚 同
百目 爐長板 同
四十三匁 同大丸板 同
百目 真手桶
六十匁 同片口

四十三匁 矢筈真薄板
十五匁 行丸香臺
十五匁 溜塗同
四十三匁 若狭盆 同
百五十匁 手拭掛 金物とも
九十匁 卓
百八十匁 高麗臺子
十五匁 紹鴎香合
三十目 [illegible]梅香合
二十一匁五分 赤繪香合 古織部好
三十三匁 溜茶桶箱
九十目 三ツ具足掛板

三十匁 溜塗草薄板
二十五匁 黒天目臺
四十三匁 四方盆 一枚
二十一匁五分 松木盆 同
百三十目 冠棚
百目 高麗卓
七十匁 四方硯 小道具共
二十一匁五分 梅鉢香合
二十五匁 少菴好香合
八十六匁 江岑好てら香合 但し内外梨地梅ノ 三日月蒔繪

一閑張笠屋才右衛門

七十五匁 高麗臺子
三十五匁 三重棚 桐 桑 一閑張宗全好 原叟好 天然好

十五匁 丸卓
八匁六分 色紙硯箱
八匁六分 同中
廿分 茶入盆 但シ四方形 黒塗
二十七匁 折敷類
十二匁九分 八角食籠 五人前
十二匁九分 縁高
四匁五分 惣菓子盆 但シ四方形 黒塗
十二匁九ト 加ゝり形烟草盆
九匁五ト 丸烟艸盆
五匁五ト 釣瓶烟草盆
一匁五分 丸たばこ入
四匁五ト 神折敷 但シ天狗形

八匁六分 長文庫
十匁 大棗
三匁五分 同小
八匁六分 茶箱
十二匁九分 茶菓子盆類 五人前
七匁五分 丸食籠
八匁六分 二重の重箱
六匁五分 湯盆 但シ丸形
四匁五ト 硯蓋
九匁五ト 赤丸形烟艸盆
四匁五ト 長たばこ盆
五匁 同小
十二匁九ト 竹皮炭取
九匁五ト 丸炭取

一匁五ト 月形香合 宗旦好
八匁六分 同結文
い 同梅鉢 い 鴛鴦

菊之絵類

十二匁九分 縁高 木地共
七匁五分 茶箱 絵代
二十匁五分 蛤香合 貝共
二十匁五分 張文庫 木地共

組物類

二十一匁五分 籠掛花 利休形 桂川写 但シ全物あり
八匁六分 宗全好置籠
十二匁九分 同竹組平炭取
二十匁五分 藤組炭取 泰叟好

四匁五分 同原叟好
八匁六分 同すゝ匁
八匁六分 瓢箪香合
二十匁五分 水指 木地共
十二匁九分 文庫 ロ
二匁五分 烟艸入 絵代
八匁六ト 衝立
十二匁九分 同宗全好
ロ 八匁六分 竹組掛花入
同大形
十五匁 同利休炭取
二十五匁八分 同 宗全好

二十五匁八分　同たつまき形さらし　三十五匁五分　同花盃
六匁五分　紹鴎好釜敷　十五匁五分　利休形同
十二匁九分　藤組かましき

木地形物類

四十二匁　松の木かさね香合　二十五匁五分　同亀香合



茶家酔古三編終

茶器師

武者小路新町西入　塗師宗哲
烏丸上立賣下ル　中川浄益
小川上立賣上ル　指物師利斎
同　黒田正玄
出水油小路西入　笹屋一閑
室町四条　岸田喜右衛門
油小路一条上ル　樂吉左衛門
麩屋押小路東入　袋物師友古
室町下長者町西入　香具師十右衛門
油小路一条上ル　風爐師善五郎
新町三条西入　釜師清右衛門
烏丸三条上ル　塩瀬九郎兵衛
室町五条下ル　森吉右衛門

茶道具屋

寺町姉小路上ル　竹屋茂八次郎
冨小路押小路東入　竹屋忠兵衛
同所西入　釜屋栄蔵
堺町押小路上ル　船屋久太郎
新町夷川上ル　大黒屋吉左衛門
新町二条下ル　ひさご屋市郎兵衛
同夷川上ル　錫屋勝兵衛
西洞院二条西入　鍵屋声助
同二条上ル　相撲屋儀兵衛
東洞院御池下ル　鍋屋常次郎
御幸町御池上ル　竹屋万助
寺町姉小路上ル　竹屋平兵衛
堀川綾小路下ル　つぼや勘四郎

茶家酔古三編終



両替町御池西入
塩瀬九郎三郎

堺馬場御池下ル
井筒屋源兵衛
堀川佛光寺下ル
徳屋五右衛門
堺町三条下ル
釜屋次助
高倉押小路下ル
竹屋弥六

池内氏蔵版

書肆
濃州岐阜
藤屋久兵衛
大坂
秋田屋幸助
京都
近江屋佐太郎

茶家酔古襍初集二集今三篇目成テ茶人ノ系圖花押ヲ始メ名物茶入名物切茶具圖説價録ニ至ルマテ茶道具鑒定ノ要悉ク全備ス尚四集目ニハ古画ノ圖説古銭ノ圖古今ノ鍛冶名寄并ニ新古刀劍ノ圖等総テ小道具目利ノ專要トナルベキ事ヲ漏サズ輯録シテ鍛冶鑑定便覧ト名附テ近ク賣出シ候

天保甲辰秋日

書房
京寺町佛光寺上ル
近江屋佐太郎